

日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日 2 0 0 3 年 6 月 1 3 日
Date of Application:

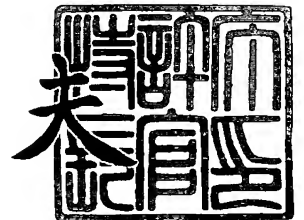
出 願 番 号 特 願 2 0 0 3 - 1 6 9 6 2 1
Application Number:
[ST. 10/C]: [J P 2 0 0 3 - 1 6 9 6 2 1]

出 願 人 富 士 ゼ ロ ッ ク ス 株 式 会 社
Applicant(s):

2 0 0 3 年 1 2 月 4 日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

今 井 康



【書類名】 特許願

【整理番号】 FE03-01781

【提出日】 平成15年 6月13日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 G06K 19/00

【発明者】

 【住所又は居所】 神奈川県海老名市本郷 2 2 7 4 番地 富士ゼロックス株式会社海老名事業所内

 【氏名】 渡部 良二

【発明者】

 【住所又は居所】 神奈川県川崎市高津区坂戸 3 丁目 2 番 1 号 K S P R & D ビジネスパークビル 富士ゼロックス株式会社内

 【氏名】 高田 明彦

【発明者】

 【住所又は居所】 神奈川県海老名市本郷 2 2 7 4 番地 富士ゼロックス株式会社海老名事業所内

 【氏名】 榊原 正義

【発明者】

 【住所又は居所】 神奈川県海老名市本郷 2 2 7 4 番地 富士ゼロックス株式会社海老名事業所内

 【氏名】 岸本 一

【発明者】

 【住所又は居所】 東京都港区赤坂二丁目 1 7 番 2 2 号 富士ゼロックス株式会社内

 【氏名】 堀野 康夫

【発明者】

 【住所又は居所】 神奈川県海老名市本郷 2 2 7 4 番地 富士ゼロックス株式会社海老名事業所内

 【氏名】 谷野 季之

【発明者】

【住所又は居所】 神奈川県海老名市本郷 2 2 7 4 番地 富士ゼロックス株式会社海老名事業所内

【氏名】 松尾 康博

【特許出願人】

【識別番号】 000005496

【氏名又は名称】 富士ゼロックス株式会社

【代理人】

【識別番号】 110000039

【氏名又は名称】 特許業務法人 アイ・ピー・エス

【代表者】 早川 明

【電話番号】 045-228-0131

【先の出願に基づく優先権主張】

【出願番号】 特願2002-248788

【出願日】 平成14年 8月28日

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 132839

【納付金額】 21, 000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 0105604

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 画像形成システムおよびその方法

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

原稿に表示された画像が形成される第 1 の画像形成部材と、少なくとも前記第 1 の画像形成部材に対して画像を形成する画像形成装置とを有する画像形成システムであって、

前記画像形成装置は、

前記原稿に表示された画像それぞれを読み取って、前記原稿に表示された画像それぞれを示す画像データとする画像読取手段と、

1 つ以上の前記原稿から読み取られた画像を、1 つの前記第 1 の画像形成部材に形成する画像形成手段と、

前記 1 つの第 1 の画像形成部材に形成された画像それぞれを示す画像データそれぞれを、これらの画像が表示された第 1 の画像形成部材に対して書き込むデータ書込み手段と

を有し、

前記第 1 の画像形成部材は、

前記書き込まれる画像データそれぞれを記憶するデータ記憶手段

を有する

画像形成システム。

【請求項 2】

前記第 1 の画像形成部材は、

前記記憶された画像データそれぞれを、外部に対して提供するデータ提供手段をさらに有し、

前記画像形成装置は、

前記第 1 の画像形成部材から提供される画像データそれぞれを読み出すデータ読出し手段

をさらに有し、

前記画像形成手段は、前記読み出された画像データそれぞれを、1 つの前記第

1 の画像形成部材、または、1 つの前記第 1 の画像形成部材以外の第 2 の画像形成部材に対して画像形成する

請求項 1 に記載の画像形成システム。

【請求項 3】

少なくとも第 1 の画像形成部材に対して画像を形成する画像形成装置であって、

原稿に表示された画像それぞれを読み取って、前記原稿に表示された画像それぞれを示す画像データとする画像読取手段と、

1 つ以上の前記原稿から読み取られた画像を、1 つの前記第 1 の画像形成部材に形成する画像形成手段と、

前記 1 つの第 1 の画像形成部材に形成された画像それぞれを示す画像データそれぞれを、これらの画像が表示された第 1 の画像形成部材に対して書き込むデータ書き込み手段と

を有する画像形成装置。

【請求項 4】

前記第 1 の画像形成部材は、前記書き込まれた画像データそれぞれを、外部に対して提供し、

前記画像形成装置は、

前記第 1 の画像形成部材から提供される画像データそれぞれを読み出すデータ読出し手段

をさらに有し、

前記画像形成手段は、前記読み出された画像データそれぞれを、1 つの前記第 1 の画像形成部材、または、1 つの前記第 1 の画像形成部材以外の第 2 の画像形成部材に対して画像形成する

請求項 3 に記載の画像形成装置。

【請求項 5】

前記データ読出し手段により読み出された画像データを用いて、少なくとも 1 つの画像を表示する表示手段

をさらに有する請求項 4 に記載の画像形成装置。

【請求項 6】

前記データ読出し手段は、複数の画像データを読み出し、

前記データ読出し手段により読み出された複数の画像データの中から少なくとも 1 つを選択する選択操作を受け付ける選択受付手段

をさらに有し、

前記画像形成手段は、前記選択受付手段により受け付けられた選択操作に対応する画像データを、画像形成部材に対して画像形成する

請求項 4 または 5 に記載の画像形成装置。

【請求項 7】

少なくとも第 1 の画像形成部材に対して画像を形成する画像形成装置であって

、
原稿に表示された画像それぞれを読み取る画像読取手段と、

1 つ以上の前記原稿から読み取られた画像を、1 つの前記第 1 の画像形成部材に形成する画像形成手段と、

前記 1 つの第 1 の画像形成部材に形成された画像それぞれが表示される位置を示すレイアウトデータを、これらの画像が表示された第 1 の画像形成部材に対して書き込むデータ書き込み手段と

を有する画像形成装置。

【請求項 8】

前記第 1 の画像形成部材は、前記書き込まれたレイアウトデータを、外部に対して提供し、

前記画像形成装置は、

前記第 1 の画像形成部材から提供されるレイアウトデータを読み出すデータ読出し手段

をさらに有し、

前記画像読取手段は、前記第 1 の画像形成部材に形成された画像を読み取り、

前記画像形成手段は、前記読み出されたレイアウトデータに従って、前記第 1 の画像形成部材から読み取られた画像を分割し、分割された画像それぞれを、1 つの前記第 1 の画像形成部材、または、1 つの前記第 1 の画像形成部材以外の第

2 の画像形成部材に対して画像形成する

請求項 7 に記載の画像形成装置。

【請求項 9】

少なくとも第 1 の画像形成部材に対して画像を形成する画像形成装置であって

、

原稿に表示された画像それぞれを読み取る画像読取手段と、

1 つ以上の前記原稿から読み取られた画像を、1 つの前記第 1 の画像形成部材に形成する画像形成手段と、

前記 1 つの第 1 の画像形成部材に形成された画像の数を示す枚数データを、これらの画像が表示された第 1 の画像形成部材に対して書き込むデータ書き込み手段と

を有する画像形成装置。

【請求項 1 0】

前記第 1 の画像形成部材は、前記書き込まれた枚数データを、外部に対して提供し、

前記画像形成装置は、

前記第 1 の画像形成部材から提供される枚数データを読み出すデータ読出し手段

をさらに有し、

前記画像読取手段は、前記 1 つの第 1 の画像形成部材に形成された画像を読み取り、

前記画像形成手段は、前記読み出された枚数データに従って、前記第 1 の画像形成部材から読み取られた画像を分割し、分割された画像それぞれを、1 つの前記第 1 の画像形成部材、または、1 つの前記第 1 の画像形成部材以外の第 2 の画像形成部材に対して画像形成する

請求項 9 に記載の画像形成装置。

【請求項 1 1】

少なくとも第 1 の画像形成部材に対して画像を形成する画像形成装置であって

、

原稿に表示された画像それぞれを読み取る画像読取手段と、
前記原稿の大きさを特定する原稿サイズ特定手段と、

1 つ以上の前記原稿から読み取られた画像を、1 つの前記第 1 の画像形成部材に形成する画像形成手段と、

前記 1 つの第 1 の画像形成部材に形成された画像それぞれの元となった原稿の大きさを示すサイズデータを、これらの画像が表示された第 1 の画像形成部材に対して書き込むデータ書込み手段と

を有する画像形成装置。

【請求項 1 2】

前記第 1 の画像形成部材は、前記書き込まれたサイズデータを、外部に対して提供し、

前記画像形成装置は、

前記第 1 の画像形成部材から提供されるサイズデータを読み出すデータ読出し手段と、

前記読み出されたサイズデータに対応する大きさの画像形成部材を選択する形成部材選択手段と

をさらに有し、

前記画像読取手段は、前記第 1 の画像形成部材に形成された画像を読み取り、

前記画像形成手段は、前記第 1 の画像形成部材から読み取られた画像の少なくとも一部を、前記選択された画像形成部材に対して画像形成する

請求項 1 1 に記載の画像形成装置。

【請求項 1 3】

少なくとも第 1 の画像形成部材に対して画像を形成する画像形成装置であって、

原稿に表示された画像それぞれを読み取る画像読取手段と、

前記原稿から読み取られた画像を、所定の倍率で大きさを変化させて第 1 の画像形成部材に形成する画像形成手段と、

前記第 1 の画像形成部材に画像を形成するときの倍率を示す倍率データを、これらの画像が表示された第 1 の画像形成部材に対して書き込むデータ書込み手段

と

を有する画像形成装置。

【請求項 1 4】

前記第 1 の画像形成部材は、前記書き込まれた倍率データを、外部に対して提供し、

前記画像形成装置は、

前記第 1 の画像形成部材から提供される倍率データを読み出すデータ読出し手段

をさらに有し、

前記画像読取手段は、前記第 1 の画像形成部材に形成された画像を読み取り、

前記画像形成手段は、前記読み出された倍率データに応じて、前記第 1 の画像形成部材から読み取られた画像の大きさを変化させて画像形成する

請求項 1 3 に記載の画像形成装置。

【請求項 1 5】

1 つ以上の原稿に表示された画像が形成される画像形成部材であって、

前記 1 つ以上の原稿に表示された画像の画像データそれぞれを受信し記憶するデータ記憶手段と、

前記記憶された画像データそれぞれを、外部に対して提供するデータ提供手段と

を有する画像形成部材。

【請求項 1 6】

少なくとも第 1 の画像形成部材に対して画像を形成する画像形成方法であって

、
原稿に表示された画像それぞれを読み取って、前記原稿に表示された画像それぞれを示す画像データとし、

1 つ以上の前記原稿から読み取られた画像を、1 つの前記第 1 の画像形成部材に形成し、

前記 1 つの第 1 の画像形成部材に形成された画像それぞれを示す画像データそれぞれを、これらの画像が表示された第 1 の画像形成部材に対して書き込む

画像形成方法。

【請求項 1 7】

原稿に表示された画像が形成される画像形成部材と、コンピュータを含む画像形成装置とを有する画像形成システムにおいて、

前記原稿に表示された画像それぞれを読み取って、前記原稿に表示された画像それぞれを示す画像データとするステップと、

1 つ以上の前記原稿から読み取られた画像を、1 つの前記画像形成部材に形成するステップと、

前記 1 つの画像形成部材に形成された画像それぞれを示す画像データそれぞれを、これらの画像が表示された画像形成部材に対して書き込むステップと

を前記画像形成装置のコンピュータに実行させるプログラム。

【発明の詳細な説明】

【0 0 0 1】

【発明の属する技術分野】

本発明は、原稿に付された非接触メモリを用いて、画像を統合または分離して形成する画像形成システムおよびその方法に関する。

【0 0 0 2】

【従来の技術】

例えば、非特許文献 1 は、記憶したデータを、外部から非接触で読み取ることができる小型の半導体チップ（「ミューチップ」）を開示する。

また、特許文献 1 ～特許文献 6 は、上述の半導体チップの応用例を開示する。

【0 0 0 3】

【特許文献 1】

特開 2 0 0 1 - 2 2 9 1 9 9 号公報

【特許文献 2】

特開 2 0 0 0 - 2 8 5 2 0 3 号公報

【特許文献 3】

特開 2 0 0 1 - 1 3 4 6 7 2 号公報

【特許文献 4】

特開 2 0 0 1 - 2 8 3 0 1 1 号公報

【特許文献 5】

特開 2 0 0 1 - 1 4 8 0 0 0 号公報

【特許文献 6】

特開 2 0 0 1 - 2 6 0 5 8 0 号公報

【非特許文献 1】

<http://pcweb.mycom.co.jp/news/2001/07/05/22.html>

【0 0 0 4】

【課題を解決するための手段】

[画像形成システム]

上記目的を達成するために、本発明にかかる第 1 の画像形成システムは、原稿に表示された画像が形成される第 1 の画像形成部材と、少なくとも前記第 1 の画像形成部材に対して画像を形成する画像形成装置とを有する画像形成システムであって、前記画像形成装置は、前記原稿に表示された画像それぞれを読み取って、前記原稿に表示された画像それぞれを示す画像データとする画像読取手段と、1 つ以上の前記原稿から読み取られた画像を、1 つの前記第 1 の画像形成部材に形成する画像形成手段と、前記 1 つの第 1 の画像形成部材に形成された画像それぞれを示す画像データそれぞれを、これらの画像が表示された第 1 の画像形成部材に対して書き込むデータ書き込み手段とを有し、前記第 1 の画像形成部材は、前記書き込まれる画像データそれぞれを記憶するデータ記憶手段を有する。

【0 0 0 5】

好適には、前記第 1 の画像形成部材は、前記記憶された画像データそれぞれを、外部に対して提供するデータ提供手段をさらに有し、前記画像形成装置は、前記第 1 の画像形成部材から提供される画像データそれぞれを読み出すデータ読出し手段をさらに有し、前記画像形成手段は、前記読み出された画像データそれぞれを、1 つの前記第 1 の画像形成部材、または、1 つの前記第 1 の画像形成部材以外の第 2 の画像形成部材に対して画像形成する。

好適には、前記データ読出し手段により読み出された画像データを用いて、少なくとも 1 つの画像を表示する表示手段をさらに有する。

好適には、前記データ読出し手段は、複数の画像データを読み出し、前記データ読出し手段により読み出された複数の画像データの中から少なくとも 1 つを選択する選択操作を受け付ける選択受付手段をさらに有し、前記画像形成手段は、前記選択受付手段により受け付けられた選択操作に対応する画像データを、画像形成部材に対して画像形成する。

【0 0 0 6】

また、本発明にかかる第 2 の画像形成システムは、原稿に表示された画像が形成される第 1 の画像形成部材と、少なくとも前記第 1 の画像形成部材に対して画像を形成する画像形成装置とを有する画像形成システムであって、前記画像形成装置は、原稿に表示された画像それぞれを読み取る画像読取手段と、1 つ以上の前記原稿から読み取られた画像を、1 つの前記第 1 の画像形成部材に形成する画像形成手段と、前記 1 つの第 1 の画像形成部材に形成された画像それぞれが表示される位置を示すレイアウトデータを、これらの画像が表示された第 1 の画像形成部材に対して書き込むデータ書込み手段とを有し、前記第 1 の画像形成部材は、前記書き込まれるレイアウトデータを記憶するデータ記憶手段を有する。

【0 0 0 7】

好適には、前記第 1 の画像形成部材は、前記書き込まれたレイアウトデータを、外部に対して提供するデータ提供手段をさらに有し、前記画像形成装置は、前記第 1 の画像形成部材から提供されるレイアウトデータを読み出すデータ読出し手段をさらに有し、前記画像読取手段は、前記第 1 の画像形成部材に形成された画像を読み取り、前記画像形成手段は、前記読み出されたレイアウトデータに従って、前記第 1 の画像形成部材から読み取られた画像を分割し、分割された画像それぞれを、1 つの前記第 1 の画像形成部材、または、1 つの前記第 1 の画像形成部材以外の第 2 の画像形成部材に対して画像形成する。

【0 0 0 8】

また、本発明にかかる第 3 の画像形成システムは、原稿に表示された画像が形成される第 1 の画像形成部材と、少なくとも前記第 1 の画像形成部材に対して画像を形成する画像形成装置とを有する画像形成システムであって、原稿に表示された画像それぞれを読み取る画像読取手段と、1 つ以上の前記原稿から読み取ら

れた画像を、1つの前記第1の画像形成部材に形成する画像形成手段と、前記1つの第1の画像形成部材に形成された画像の数を示す枚数データを、これらの画像が表示された第1の画像形成部材に対して書き込むデータ書込み手段とを有し、前記第1の画像形成部材は、前記書き込まれるレイアウトデータを記憶するデータ記憶手段を有する。

【0009】

好適には、前記第1の画像形成部材は、前記書き込まれた枚数データを、外部に対して提供するデータ提供手段をさらに有し、前記画像形成装置は、前記第1の画像形成部材から提供される枚数データを読み出すデータ読出し手段をさらに有し、前記画像読取手段は、前記1つの第1の画像形成部材に形成された画像を読み取り、前記画像形成手段は、前記読み出された枚数データに従って、前記第1の画像形成部材から読み取られた画像を分割し、分割された画像それぞれを、1つの前記第1の画像形成部材、または、1つの前記第1の画像形成部材以外の第2の画像形成部材に対して画像形成する。

【0010】

好適には、前記画像形成装置は、前記原稿の大きさを特定する原稿サイズ特定手段をさらに有し、前記データ書込み手段は、前記1つの第1の画像形成部材に形成された画像それぞれの元となった原稿の大きさを示すサイズデータを、これらの画像が表示された第1の画像形成部材に対してさらに書き込む。

【0011】

好適には、前記第1の画像形成部材のデータ提供手段は、前記書き込まれたサイズデータを、外部に対してさらに提供し、前記画像形成装置のデータ読出し手段は、前記第1の画像形成部材から提供されるサイズデータをさらに読み出し、前記画像形成装置は、前記読み出されたサイズデータに対応する大きさの画像形成部材を選択する形成部材選択手段をさらに有し、前記画像形成手段は、前記第1の画像形成部材から読み取られた画像の少なくとも一部を、前記選択された画像形成部材に対して画像形成する。

【0012】

好適には、前記画像形成装置の画像形成手段は、前記原稿から読み取られた画

像を、所定の倍率で大きさを変化させて第 1 の画像形成部材に形成し、前記データ書込み手段は、前記第 1 の画像形成部材に画像を形成するときの倍率を示す倍率データを、これらの画像が表示された第 1 の画像形成部材に対して書き込む。

【0013】

好適には、前記第 1 の画像形成部材のデータ提供手段は、前記書き込まれた倍率データを、外部に対してさらに提供し、前記画像形成装置のデータ読出し手段は、前記第 1 の画像形成部材から提供される倍率データをさらに読み出し、前記画像形成手段は、前記読み出された倍率データに応じて、前記第 1 の画像形成部材から読み取られた画像の大きさを変化させて画像形成する。

【0014】

[画像形成システムの説明]

以下、本発明にかかる画像形成システムを、例を示して説明する。

なお、以下に示す例は、本発明を具体化して、その理解を助けることを意図したものであって、本発明の技術的範囲の限定を意図するものではない。

本発明にかかる画像形成システムにおいては、2 以上の原稿から画像を読み取り、読み取られた 2 以上の画像を、1 枚の印刷用紙（第 1 の画像形成部材）にまとめて印刷する処理（以下、N アップ印刷処理）と、2 以上の画像が表示された印刷用紙から画像を読み取り、これら 2 以上の画像それぞれを印刷用紙（第 1 の画像形成部材、または、第 2 の画像形成部材）に印刷して原稿を再現する処理（以下、N アップ解除処理）とが、ユーザの指示に応じて行われる。

なお、N アップ印刷とは、N 枚の画像を 1 枚の印刷用紙にまとめて印刷することを意味し、N アップ解除とは、N アップ印刷された印刷用紙を用いて、N 枚の画像をそれぞれ印刷することを意味する。

【0015】

原稿を再現するために必要な情報は、電波を用いて非接触にデータの読み出しが可能な半導体チップ（データ記憶手段）に記憶される。

原稿を再現するために必要な情報とは、例えば、2 以上の原稿から読み取られた画像それぞれの画像データ、原稿の画像それぞれが印刷された位置を示すレイアウトデータ、印刷された画像の枚数を示す枚数データ、原稿の大きさを示すサ

イズデータ、または、Nアップ印刷するときの画像の縮小倍率を示す倍率データ等である。

これらのデータが記憶された半導体チップは、漉き込まれるなどして、印刷用紙に付されている。

【0 0 1 6】

画像形成装置は、例えば、上記原稿等からスキャナ（画像読取手段）により画像を読み取って印刷（画像形成）するコピーマシンである。

データ書込み手段は、上記Nアップ印刷処理において、上記原稿を再現するために必要な情報を、印刷用紙の近傍に配設されたアンテナにより、電波を用いて上記半導体チップに書き込む。

また、データ読取手段は、上記Nアップ解除処理において、上記原稿を再現するために必要な情報を、印刷用紙の近傍に配設されたアンテナにより、電波を用いて上記半導体チップから読み出す。

【0 0 1 7】

原稿サイズ特定手段は、原稿の大きさ（例えば、A 3 サイズまたはA 4 サイズ等）を特定する。

形成部材選択手段は、上記半導体チップから読み取られた情報を用いて、原稿と同じ大きさの印刷用紙（例えば、A 3 用紙またはA 4 用紙等）を選択する。

【0 0 1 8】

画像形成手段は、Nアップ印刷処理においては、2 以上の画像を1 枚の印刷用紙に印刷できるように、大きさの変換またはレイアウトの変更等を行い、1 枚の印刷用紙（第1 の画像形成部材）に印刷する。

また、画像形成手段は、Nアップ解除処理においては、1 枚の原稿に印刷された2 以上の画像をそれぞれ元の大きさに復元し、上記半導体チップが付された印刷用紙（第1 の画像形成部材）、または、上記半導体チップが付されていない印刷用紙（第2 の画像形成部材）に印刷する。

【0 0 1 9】

[画像形成装置・画像形成部材]

また、本発明にかかる画像形成装置および画像形成部材は、上記いずれかの画

像形成システムの画像形成装置および画像形成部材である。

【0 0 2 0】

[画像形成方法]

また、本発明にかかる画像形成方法は、少なくとも第 1 の画像形成部材に対して画像を形成する画像形成方法であって、原稿に表示された画像それぞれを読み取って、前記原稿に表示された画像それぞれを示す画像データとし、1 つ以上の前記原稿から読み取られた画像を、1 つの前記第 1 の画像形成部材に形成し、前記 1 つの第 1 の画像形成部材に形成された画像それぞれを示す画像データそれぞれを、これらの画像が表示された第 1 の画像形成部材に対して書き込む。

【0 0 2 1】

[プログラム]

また、本発明にかかるプログラムは、原稿に表示された画像が形成される画像形成部材と、コンピュータを含む画像形成装置とを有する画像形成システムにおいて、前記原稿に表示された画像それぞれを読み取って、前記原稿に表示された画像それぞれを示す画像データとするステップと、1 つ以上の前記原稿から読み取られた画像を、1 つの前記画像形成部材に形成するステップと、前記 1 つの画像形成部材に形成された画像それぞれを示す画像データそれぞれを、これらの画像が表示された画像形成部材に対して書き込むステップとを前記画像形成装置のコンピュータに実行させる。

【0 0 2 2】

【発明の実施の形態】

[第 1 実施形態]

以下、本発明の第 1 の実施形態を説明する。

【0 0 2 3】

[コピー装置 1]

図 1 は、本発明にかかる画像形成方法が適応されるコピー装置 1 のハードウェア構成を、その制御装置 2 を中心に例示する図である。

図 1 に示すように、コピー装置 1 は、制御装置 2 およびコピー装置本体 1 0 から構成される。

制御装置 2 は、CPU 2 0 2 およびメモリ 2 0 4 などを含む制御装置本体 2 0、通信装置 2 2、HDD・CD 装置などの記録装置 2 4、LCD 表示装置あるいは CRT 表示装置およびキーボード・タッチパネルなどを含むユーザインターフェース装置（UI 装置） 2 6、および、アンテナ 2 8 0 を有する IC チップインターフェース（IC チップ IF） 2 8 から構成される。

【0 0 2 4】

[コピー装置本体 1 0]

図 2 は、図 1 に示したコピー装置本体 1 0 のハードウェア構成を例示する図である。

図 2 に示すように、コピー装置本体 1 0 は、用紙トレイ部 1 2、ゼログラフィなどにより画像を印刷用紙に印刷するプリントエンジン 1 4、原稿の画像を読み取るスキャナ 1 6、および、原稿を送る原稿送り装置 1 8 などから構成される。

また、コピー装置本体 1 0 において、IC チップ IF 2 8 およびアンテナ 2 8 0 は、原稿が搬送される原稿送り装置 1 8 の原稿搬送路、および、印刷後の印刷用紙が搬送される用紙搬送路の近傍に配設され、UI 装置 2 6 は、コピー装置本体 1 0 の上部に配設される。

つまり、コピー装置 1 は、原稿送り装置 1 8 を送られる原稿の画像を読み取って印刷する一般的なコピー装置に、IC チップ IF 2 8 およびアンテナ 2 8 0 が付加されたハードウェア構成を採る。

なお、制御装置 2（図 1）は、図 2 に示すように、実際にはコピー装置本体 1 0 の内部に収容される。

【0 0 2 5】

[元原稿 4 4・原稿用紙 4 0・第 2 の印刷用紙 4 2]

次に、N アップ印刷処理または N アップ解除処理を行った場合の印刷結果を、具体例を用いて説明する。

以下の説明においては、N アップ印刷処理において画像が読み取られる原稿を「元原稿 4 4」とし、2 以上の元原稿 4 4 から読み取られた 2 以上の画像がまとめて印刷される画像形成部材を「第 1 の印刷用紙 4 0」とする。

また、N アップ解除処理において画像が読み取られる原稿を「第 1 の印刷用紙

4 0」とし、この第 1 の印刷用紙 4 0 から読み取られた 2 以上の画像それぞれが印刷される画像形成部材を「第 2 の印刷用紙 4 2」とする。

【 0 0 2 6 】

図 3 (A) は、N アップ印刷処理において原稿として用いられる元原稿 4 4 を例示する図であり、図 3 (B) は、コピー装置 1 (図 1、図 2) が図 3 (A) に例示した元原稿 4 4 を 2 アップ印刷して得られる 1 枚の第 1 の印刷用紙 4 0 を例示する図である。

図 3 (A) に例示するように、2 枚の元原稿 4 4 には、それぞれ原稿画像 A または原稿画像 B が表示されている。

【 0 0 2 7 】

図 3 (B) に例示するように、第 1 の印刷用紙 4 0 には、I C チップ 3 が、漉き込むなどの方法により付されている。

第 1 の印刷用紙 4 0 の表面には、1 枚目の元原稿 4 4 から読み取った原稿画像 A と、2 枚目の元原稿 4 4 から読み取った原稿画像 B とが印刷されている。

本例の第 1 の印刷用紙 4 0 および元原稿 4 4 は共に A 4 サイズであるため、コピー装置 1 (図 1、図 2) は、元原稿 4 4 に表示された原稿画像 A、B を A 5 サイズに縮小して第 1 の印刷用紙 4 0 に印刷する。

【 0 0 2 8 】

図 4 (A) は、N アップ解除処理において原稿として用いられる第 1 の印刷用紙 4 0 を例示する図であり、図 4 (B) は、コピー装置 1 (図 1、図 2) が図 4 (A) に例示した 1 枚の第 1 の印刷用紙 4 0 を 2 アップ解除処理して得られる 2 枚の第 2 の印刷用紙 4 2 を例示する図である。

図 4 (A) に例示するように、N アップ印刷された第 1 の印刷用紙 4 0 には、原稿画像 A および原稿画像 B がまとめて印刷されている。

【 0 0 2 9 】

図 4 (B) に例示するように、コピー装置 1 (図 1、図 2) は、N アップ解除処理を行い、第 1 の印刷用紙 4 0 から読み取られた原稿画像 A、B (A 5 サイズ) を、元原稿 4 4 (図 3) と同じ大きさ (A 4 サイズ) に復元して第 2 の印刷用紙 4 2 の表面に印刷する。

また、コピー装置 1 (図 1、図 2) において N アップ解除処理される場合、コピー装置 1 は、元原稿 4 4 と同じ大きさの第 2 の印刷用紙 4 2 を選択する。

【0 0 3 0】

図 5 は、図 3 (B)、図 4 (A) に示した第 1 の印刷用紙 4 0 に付された I C チップ 3 が記憶するデータを例示する図である。

図 5 に例示するように、I C チップ 3 は、元原稿「原稿 1」から読み取った画像データおよびこの元原稿の大きさを示すサイズデータとして、それぞれ「画像データ」および「用紙サイズ」を記憶し、元原稿「原稿 2」から読み取った画像データおよびこの元原稿の大きさを示すサイズデータとして、それぞれ「画像データ」および「用紙サイズ」を記憶する。

これらのデータは、コピー装置 1 が N アップ解除処理を行うときに読み出されて、印刷処理に利用される。

なお、I C チップ 3 に記憶される画像データには、この画像データが印刷されるときの大きさを指定するデータが含まれている。

【0 0 3 1】

[I C チップ 3 ・ I C チップ I F 2 8]

図 6 は、図 3 (B)、図 4 (A) に示した I C チップ 3 の構成を示す図である。

図 7 は、図 1、図 2 に示した I C チップ I F 2 8 の構成を示す図である。

図 6 に示すように、I C チップ 3 は、アンテナ 3 0 0、クロック再生回路 3 2 0、メモリ回路 3 2 2、データ送受信回路 3 2 4 および電源回路 3 2 6 から構成される。

なお、第 1 の印刷用紙 4 0 の I C チップ 3 が、アンテナ 2 8 0 のごく近傍を通過することが保証されている場合には、アンテナ 3 0 0 を有さない I C チップ 3 が用いられる場合がある。

【0 0 3 2】

また、図 7 に示すように、I C チップ I F 2 8 は、送信回路 2 8 4、受信回路 2 8 6、送受信制御回路 2 8 2、復調回路 2 8 8 および変調回路 2 9 0 から構成される。

以下に説明する ICチップ3 および ICチップ IF 28 の各構成部分の動作により、ICチップ IF 28 を介して、ICチップ3 に情報（データ）が非接触で書き込まれ、ICチップ3 に記憶された情報が非接触で読み取られる。

【0033】

ICチップ3（図6）において、電源回路326は、アンテナ300を介して供給される電波信号を整流して、ICチップ3の各構成部分に対して、それらの動作に必要な電力を供給する。

【0034】

クロック再生回路320は、アンテナ300を介してICチップ IF 28 から供給される電波信号から、クロック信号を再生し、メモリ回路322およびデータ送受信回路324に対して出力する。

【0035】

メモリ回路322は、例えば不揮発性のRAMであって、クロック再生回路320から入力されたクロック信号に同期して、データ送受信回路324から入力される情報を示すデータを記憶する。

また、メモリ回路322は、上記クロック信号に同期して、記憶した情報を示すデータを、データ送受信回路324に対して出力する。

【0036】

データ送受信回路324は、アンテナ300から入力される電波信号からデータを復調し、クロック再生回路320から入力されるクロック信号に同期して、メモリ回路322に対して出力する。

また、データ送受信回路324は、メモリ回路322から入力されるデータの値に従って、ICチップ IF 28 側から供給される電波信号の反射強度を、上記クロック信号に同期して変更する。

このように、メモリ回路322が記憶した情報を示すデータは、ICチップ IF 28 から ICチップ3 に対して送信された電波信号の反射信号の強度を変更することにより、ICチップ3 から ICチップ IF 28 に対して送信される。

【0037】

ICチップ IF 28（図7）において、送受信制御回路282は、ICチップ

I F 28 の各構成部分の動作を制御する。

また、送受信制御回路 282 は、制御装置本体 20（第 1 の印刷プログラム 5；図 8 を参照して後述）から入力されるデータを、変調回路 290 に対して出力する。

また、送受信制御回路 282 は、受信回路 286 により受信され、復調回路 288 により復調されたデータを、制御装置本体 20 に対して出力する。

【0038】

変調回路 290 は、送受信制御回路 282 から入力されるデータで電波信号を変調し、送信回路 284 に対して出力する。

【0039】

送信回路 284 は、I C チップ 3 に記憶させるデータおよびクロック信号などを含む電波信号を、アンテナ 280 を介して、I C チップ 3 に対して送信する。

【0040】

受信回路 286 は、I C チップ 3 側からの反射信号を受信し、復調回路 288 に対して出力する。

【0041】

復調回路 288 は、受信回路 286 から入力される反射信号の変化から、I C チップ 3 が送信したデータを復調し、送受信制御回路 282 に対して出力する。

【0042】

[印刷プログラム 5]

図 8 は、制御装置 2（図 1，図 2）により実行され、本発明にかかる画像形成方法を実現する第 1 の印刷プログラム 5 の構成を示す図である。

図 8 に示すように、印刷プログラム 5 は、画像読取部 500、U I 部 510、データ読出し部 520、画像形成部 530、データ書込み部 550 および用紙選択部 560 から構成される。

また、画像読取部 500 は、画像サイズ特定部 502 を含み、画像形成部 530 は、サイズ変換部 532、統合部 534 および印刷部 540 を含む。

【0043】

印刷プログラム 5 は、N アップ印刷が指示された場合には、N アップ印刷処理

を行い、ＩＣチップ 3 に原稿の画像データを記憶させる。

また、印刷プログラム 5 は、Ｎアップ解除が指示された場合には、ＩＣチップ 3 から画像データを読み出し、読み出された画像データをそれぞれ元の大きさに印刷することにより、Ｎアップ解除処理を行う。

印刷プログラム 5 は、例えば記録媒体 2 4 0（図 1）を介して制御装置 2 に供給され、メモリ 2 0 4 にロードされて実行される。

【 0 0 4 4 】

[共通の機能]

まず、印刷プログラム 5 の各構成部分の中で、Ｎアップ印刷処理およびＮアップ解除処理の両方において機能する部分を説明する。

印刷プログラム 5 において、ＵＩ部 5 1 0 は、ＵＩ装置 2 6（図 1，図 2）に対するユーザの操作を受け入れ、Ｎアップ印刷またはＮアップ解除の指示を、画像読取部 5 0 0 またはデータ読出し部 5 2 0 に対して出力する。

なお、以下の説明においては、コピー装置 1 のユーザが、原稿送り装置 1 8（図 2）に元原稿 4 4 または第 1 の印刷用紙 4 0 をセットし、Ｎアップ印刷またはＮアップ解除の指示を行った場合に、印刷処理を開始する場合を具体例とする。

【 0 0 4 5 】

印刷部 5 4 0 は、プリントエンジン 1 4 を制御して、Ｎアップ印刷処理の場合には、統合部 5 3 4 から入力された画像データを第 1 の印刷用紙 4 0 に印刷させ、Ｎアップ解除処理の場合には、データ読出し部 5 2 0 から入力された画像データを第 2 の印刷用紙 4 2 に印刷させる。

【 0 0 4 6 】

[Ｎアップ印刷処理における機能]

次に、Ｎアップ印刷処理において主に機能する構成部分を説明する。

印刷プログラム 5 において、画像読取部 5 0 0 は、スキャナ 1 6（図 2）などコピー装置本体 1 0 の構成部分を制御して、原稿送り装置 1 8 により搬送されてくる元原稿 4 4 の画像（図 3（Ａ））を読み取る。

【 0 0 4 7 】

原稿サイズ特定部 5 0 2 は、順次搬送されてくる元原稿 4 4 の大きさを特定し

、特定した大きさをサイズデータとしてデータ書込み部 5 5 0 に対して出力する。

例えば、原稿サイズ特定部 5 0 2 は、スキャナ 1 6（図 2）を制御して、光学的方法により元原稿 4 4 の大きさを特定する。

【0 0 4 8】

サイズ変換部 5 3 2 は、読み取られた画像全てが 1 枚の第 1 の印刷用紙 4 0 に印刷できるように、画像読取部 5 0 0 から入力された画像の大きさを変換する。

例えば、元原稿 4 4 と同じ大きさの第 1 の印刷用紙 4 0 に 2 アップ印刷処理される場合、サイズ変換部 5 3 2 は、入力された画像の面積を $1/2$ に縮小する。

【0 0 4 9】

統合部 5 3 4 は、2 以上の画像が 1 枚の第 2 の印刷用紙 4 2 に印刷される場合、入力された画像の形状、大きさおよび枚数と、これらの画像が印刷される第 1 の印刷用紙 4 0 の形状および大きさに応じて、入力された 2 つ以上の画像を所定のレイアウトで統合する。

例えば、統合部 5 3 4 は、図 3 で例示したように A 4 サイズの元原稿 2 枚から画像が読み取られ、読み取られた画像が A 4 サイズの印刷用紙に印刷される場合、サイズ変換部 5 3 2 により $1/2$ に縮小された 2 枚の画像を、図 3（B）で示したように長辺を互いに隣接させて並べる。

【0 0 5 0】

データ書込み部 5 5 0 は、I C チップ I F 2 8 を制御して、画像読取部 5 0 0 から入力された画像データを、用紙選択部 5 6 0（後述）により選択され搬送されてきた第 1 の印刷用紙 4 0 の I C チップ 3 に書き込む。

例えば、データ書込み部 5 5 0 は、2 以上の元原稿 4 4 それぞれから読み取られた画像データを、それぞれ別個のデータファイルとして書き込む。

さらに、データ書込み部 5 5 0 は、原稿サイズ特定部 5 0 2 から入力されたサイズデータを、I C チップ 3 に書き込む。

【0 0 5 1】

[N アップ解除処理における機能]

最後に、N アップ解除処理において主に機能する構成部分を説明する。

印刷プログラム 5 において、データ読出し部 520 は、IC チップ IF28 を制御して、IC チップ 3 から画像データと、元原稿 44 のサイズを示すサイズデータとを読み出し、読み取られた画像データを印刷部 540 に対して出力し、読み取られたサイズデータを用紙選択部 560 に対して出力する。

【0052】

用紙選択部 560 は、用紙トレイ部 12（図 2）を制御して、データ読出し部 520 から入力されたサイズデータに応じた第 2 の印刷用紙 42 を選択し、印刷位置まで搬送させる。

なお、N アップ印刷処理においては、用紙選択部 560 は、ユーザにより選択された第 1 の印刷用紙 40 を印刷位置まで搬送させる。

【0053】

[全体動作]

以下、コピー装置 1 の全体的な動作を、N アップ印刷処理および N アップ解除処理のそれぞれについて説明する。

図 9 は、N アップ印刷処理におけるコピー装置 1（印刷プログラム 5）の第 1 の動作（S10）を示すフローチャートである。

図 9 に示すように、ステップ 100（S100）において、ユーザは、原稿送り装置 18（図 2）に 2 枚以上の元原稿 44 をセットし、UI 装置 26（図 1，図 2）に対して、第 1 の印刷用紙 40 のサイズ指定などを指定するための操作を行う。

UI 部 510（図 8）は、この操作を受け入れて、画像読取部 500 などに対して N アップ印刷処理を指示する。

【0054】

ステップ 102（S102）において、UI 装置 26 に対して、N アップ印刷処理が指示されると、原稿送り装置 18（図 2）は、セットされた 2 枚以上の元原稿 44 を画像読取位置まで順に搬送し、画像読取部 500（図 8）は、スキャナ 16（図 2）などを制御して、順次搬送されてくる 2 枚以上の元原稿 44 から画像を読み取り、読み取られた画像のデータをサイズ変換部 532 およびデータ書込み部 550 に対して出力する。

【0055】

ステップ104（S104）において、原稿サイズ特定部502（図8）は、順次搬送されてくる元原稿44の大きさを特定し、特定された大きさをサイズデータとしてデータ書込み部550に対して出力する。

【0056】

ステップ106（S106）において、サイズ変換部532は、画像読取部500から入力された2枚以上の画像を、1枚の第1の印刷用紙40に印刷できるように縮小し、統合部534に対して出力する。

統合部534は、縮小された2枚以上の画像を、1枚の第1の印刷用紙40に印刷できるように並べ、これらを併せて印刷部540に対して出力する。

【0057】

ステップ108（S108）において、印刷部540（図8）は、プリントエンジン14（図2）を制御して、統合部534から入力された画像を、選択された第1の印刷用紙40に印刷する。

【0058】

ステップ110（S110）において、データ書込み部550は、入力された画像データおよびサイズデータを、第1の印刷用紙40に付されたICチップ3に書き込む。

【0059】

このように、コピー装置1は、2以上の原稿に表示された画像を1枚の第1の印刷用紙40にまとめて印刷すると共に、原稿に表示された画像それぞれのデータを、この第1の印刷用紙40のICチップ3に記憶させておくことができる。

【0060】

次に、Nアップ解除処理におけるコピー装置1（印刷プログラム5）の第1の動作（S20）について説明する。

図10は、Nアップ解除処理におけるコピー装置1（印刷プログラム5）の第1の動作（S20）を示すフローチャートである。

図10に示すように、ステップ200（S200）において、ユーザは、図9で示したNアップ印刷処理により2以上の画像が印刷された第1の印刷用紙40

を、原稿送り装置 1 8 (図 2) にセットし、U I 装置 2 6 (図 1, 図 2) に対して、N アップ解除処理を指示するための操作を行う。

U I 部 5 1 0 (図 8) は、この操作を受け入れて、データ読出し部 5 2 0 などに対して N アップ印刷処理を指示する。

【 0 0 6 1 】

ステップ 2 0 2 (S 2 0 2) において、U I 装置 2 6 に対して、N アップ解除処理が指示されると、データ読出し部 5 2 0 (図 8) は、原稿送り装置 1 8 により搬送される第 1 の印刷用紙 4 0 に付された I C チップ 3 から 2 以上の画像データおよびサイズデータを読み出し、読み出された画像データをそれぞれ印刷部 5 4 0 に対して出力し、読み出されたサイズデータをそれぞれ用紙選択部 5 6 0 に対して出力する。

【 0 0 6 2 】

ステップ 2 0 4 (S 2 0 4) において、用紙選択部 5 6 0 (図 8) は、用紙トレイ部 1 2 (図 2) を制御して、入力されたサイズデータに応じた大きさの第 2 の印刷用紙 4 2 を選択し、印刷位置まで搬送させる。

【 0 0 6 3 】

ステップ 2 0 6 (S 2 0 6) において、印刷部 5 4 0 (図 8) は、データ読取部 5 2 0 から入力された 2 以上の画像データを、順次搬送されてくる第 2 の印刷用紙 4 2 にそれぞれ印刷する。

【 0 0 6 4 】

ステップ 2 0 8 (S 2 0 8) において、印刷部 5 4 0 は、全ての画像データを印刷したか否かを判断する。

印刷プログラム 5 は、全ての画像データが印刷された場合に、処理を終了し、これ以外の場合に、S 2 0 4 の処理に進む。

つまり、印刷プログラム 5 は、2 以上の画像データが読み出された場合に、それぞれの画像データを、それぞれ別個の第 2 の印刷用紙 4 2 に印刷する。

【 0 0 6 5 】

このように、コピー装置 1 は、第 1 の印刷用紙 4 0 に付された I C チップ 3 から原稿の画像データと原稿のサイズデータとを読み出すことにより、1 枚の第 1

の印刷用紙 4 0 にまとめて印刷された 2 以上の画像を、元の原稿と同じ大きさに印刷することができる。

【0 0 6 6】

〔第 2 実施形態〕

次に、本発明の第 2 の実施形態を説明する。

本実施形態において、第 1 の印刷用紙 4 0（図 3（B）、図 4（A））に付された I C チップ 3 は、この第 1 の印刷用紙 4 0 に印刷された画像の画像データそのものを記憶するのではなく、この第 1 の印刷用紙 4 0 に印刷された 2 以上の画像それぞれの位置を示すレイアウトデータを記憶する。

また、コピー装置 1（図 1、図 2）は、第 1 の印刷用紙 4 0 から読み取った画像を、このレイアウトデータに従って分割し、分割された画像それぞれの大きさを復元して印刷する。

【0 0 6 7】

図 1 1 は、図 3（B）、図 4（A）に示した I C チップ 3 が記憶するレイアウトデータ等を例示する図である。

図 1 1 に示すように、第 1 の印刷用紙 4 0 に付された I C チップ 3 は、この第 1 の印刷用紙 4 0 に印刷された 2 以上の画像の境界位置を示すレイアウトデータ（X：5 0、Y：2 5，5 0，7 5）と、元原稿 4 4（図 3（A））の大きさを示すサイズデータ（用紙サイズ）と、N アップ印刷するときに元原稿 4 4 の画像が縮小された倍率を示す倍率データ（縮小倍率）とを記憶する。

本例におけるレイアウトデータ「X：5 0」は、第 1 の印刷用紙 4 0 の短辺、長辺および I C チップ 3 の位置に基づいて定められる X 軸において「X＝5 0」の位置に、画像の境界があることを示し、同様に、レイアウトデータ「Y：2 5，5 0，7 5」は、第 1 の印刷用紙 4 0 の Y 軸において「Y＝2 5，5 0 および 7 5」の位置に、画像の境界があることを示す。

【0 0 6 8】

図 1 2 は、第 2 の印刷プログラム 5 2 の構成を示す図である。

図 1 2 に示すように、印刷プログラム 5 2 は、図 8 で示した印刷プログラム 5 の画像形成部 5 3 0 に、画像分割部 5 3 6 およびサイズ復元部 5 3 8 を追加した

構成を採る。

なお、印刷プログラム 52 の各構成部分の内、印刷プログラム 5 の各構成部分と実質的に同一な部分には同一の符号が付してある。

【0069】

[Nアップ印刷処理における機能の変更点]

まず、Nアップ印刷処理における機能の変更点を説明する。

印刷プログラム 52 のサイズ変換部 530 は、画像の大きさを変換した場合に、変換された倍率を示す倍率データをデータ書込み部 550 に対して出力する。

また、統合部 534 は、2 以上の画像が 1 枚の第 1 の印刷用紙 40 に印刷できるように並べて統合し、これらの画像の境界位置を示すレイアウトデータをデータ書込み部 550 に対して出力する。

データ書込み部 550 は、原稿サイズ特定部 502 から入力されたサイズデータに加えて、倍率データおよびレイアウトデータを IC チップ 3 に記憶させる。

【0070】

[Nアップ解除処理における機能の変更点]

次に、Nアップ解除処理における機能の変更点を説明する。

印刷プログラム 52 のデータ読出し部 520 は、原稿送り装置 18（図 2）により搬送されてくる第 1 の印刷用紙 40 の IC チップ 3 から、レイアウトデータ、サイズデータおよび倍率データを読み出し、レイアウトデータを画像分割部 536 に対して出力し、倍率データをサイズ復元部 538 に対して出力し、サイズデータを用紙選択部 560 に対して出力する。

【0071】

また、Nアップ解除処理の場合、画像読取部 500 は、原稿送り装置 18（図 2）により搬送されてくる第 1 の印刷用紙 40 に表示される画像を読み取り、画像分割部 536 に対して出力する。

画像分割部 536 は、レイアウトデータに従い、画像読取部 500 から入力された画像を分割する。

サイズ復元部 538 は、倍率データに示された倍率を用いて、分割された画像を、Nアップ印刷処理により縮小される前の大きさにまで拡大させて印刷部 54

0 に対して出力する。

【 0 0 7 2 】

図 1 3 は、N アップ印刷処理におけるコピー装置 1（印刷プログラム 5 2）の第 2 の動作（S 1 2）を示すフローチャートである。

図 1 4 は、N アップ解除処理におけるコピー装置 1（印刷プログラム 5 2）の第 2 の動作（S 2 2）を示すフローチャートである。

なお、図 1 3 および図 1 4 に示した処理の内、図 9 および図 1 0 に示した処理と実質的に同一なものには、同一の符号が付してある。

【 0 0 7 3 】

[N アップ印刷処理における第 2 の動作]

図 1 3 に示すように、N アップ印刷処理におけるコピー装置 1 の第 2 の動作（S 1 2）においては、S 1 0 6 の処理において 2 以上の元原稿 4 4 から読み取られた画像が縮小され統合され、S 1 0 8 の処理において統合された画像が印刷された後に、ステップ 1 1 2（S 1 1 2）の処理において、データ書込み部 5 5 0（図 1 2）は、元原稿 4 4 のサイズデータに加えて、画像の縮小倍率を示す倍率データと、統合された画像の境界位置を示すレイアウトデータとを I C チップ 3 に記憶させる。

【 0 0 7 4 】

[N アップ解除処理における第 2 の動作]

図 1 4 に示すように、N アップ解除処理におけるコピー装置 1 の第 2 の動作（S 2 2）においては、S 2 0 2 の処理においてサイズデータ、倍率データおよびレイアウトデータが読み出され、S 2 0 4 の処理においてサイズデータに応じた第 2 の印刷用紙 4 2 が選択された後に、ステップ 2 1 2（S 2 1 2）の処理において、画像分割部 5 3 6（図 1 2）は、レイアウトデータにより示された境界位置で、第 1 の印刷用紙 4 0 から読み取られた画像を分割し、サイズ復元部 5 3 8 に対して出力する。

【 0 0 7 5 】

ステップ 2 1 4（S 2 1 4）において、サイズ復元部 5 3 8（図 1 2）は、倍率データにより示される縮小倍率に基づいて、分割部 5 3 6 から入力された画像

を元の大きさに拡大し、印刷部 5 4 0 に対して出力する。

【 0 0 7 6 】

このように、I C チップ 3 には、画像データそのものではなく、レイアウトデータ、サイズデータおよび倍率データを記憶させるので、I C チップ 3 の記憶容量が小さい場合に好適である。

【 0 0 7 7 】

[第 1 変形例]

上記第 2 の実施形態においては、第 1 の印刷用紙 4 0 に付された I C チップ 3 にレイアウトデータを記憶させておき、このレイアウトデータに基づいて画像を分割したが、本変形例においては、第 1 の印刷用紙 4 0 に付された I C チップ 3 に、印刷されている画像の枚数を記憶させておき、この第 1 の印刷用紙 4 0 から読み取られた画像を、画像の枚数で等分割して原稿を再現する。

また、元原稿 4 4 および第 1 の印刷用紙 4 0 は、A 3、A 4、B 3 および B 4 等の規格に従う場合を具体例として以下説明する。

【 0 0 7 8 】

図 1 5 (A) は、図 3 に示した用紙 (元原稿 4 4 および第 1 の印刷用紙 4 0) の規格を例示する図であり、図 1 5 (B) は、図 1 5 (A) に示した A 3 規格の用紙と A 4 規格の用紙との大きさおよび形状を例示する図である。

図 1 5 (A) に示すように、A 3 規格の用紙は、A 4 規格の用紙の 2 倍の面積を有し、A 5 規格の用紙の 4 倍の面積を有する。

この A 3 規格の用紙は、図 1 5 (B) に示すように、A 4 規格の用紙 2 枚を長辺が互いに隣接するように並べたものと、同一の大きさおよび形状となる。

つまり、A 3 規格の用紙に、A 4 規格の大きさの画像を 2 枚並べて印刷したい場合には、A 3 規格の用紙の長辺に対して垂直に二等分した領域それぞれに印刷する。

このように、元原稿 4 4 および第 1 の印刷用紙 4 0 がこのような規格に従う場合、N アップ印刷処理時のレイアウトおよび縮小倍率を予め定めておくことができる。

【 0 0 7 9 】

図 1 6 は、図 3 (B)、図 4 (A) に示した I C チップ 3 が記憶する枚数データ等を例示する図である。

図 1 6 に例示するように、第 1 の印刷用紙 4 0 に付された I C チップ 3 (図 3 (B)、図 4 (A)) は、この第 1 の印刷用紙 4 0 に印刷された画像の元である元原稿 4 4 の枚数を示す「原稿の画像数」と、その元原稿 4 4 の用紙規格とを記憶する。

【0 0 8 0】

[機能の変更点]

本変形例において、図 1 2 に示した原稿サイズ特定部 5 0 2 は、元原稿 4 4 の用紙規格を特定し、サイズ変換部 5 3 0 を介して、特定された用紙規格をサイズデータとしてデータ書込み部 5 5 0 に対して出力する。

【0 0 8 1】

N アップ印刷処理において、サイズ変換部 5 3 0 (図 1 2) は、図 1 5 (A) で例示した規格毎の面積比率に基づき、元原稿 4 4 の枚数、元原稿 4 4 の用紙規格および第 1 の印刷用紙 4 0 の用紙規格に応じた倍率で、画像の大きさを変換する。

統合部 5 3 4 は、サイズ変換部 5 3 0 により拡大または縮小された画像の大きさと、第 1 の印刷用紙 4 0 の用紙規格とに応じて、図 1 5 (B) で例示したようにレイアウトを決定する。

データ書込み部 5 5 0 は、1 枚の第 1 の印刷用紙 4 0 に印刷された枚数を示す枚数データと、元原稿 4 4 の用紙規格とを第 1 の印刷用紙 4 0 の I C チップ 3 に書き込む。

なお、印刷される枚数が 2 の整数乗でない場合、サイズ変換部 5 3 0 およびデータ書込み部 5 5 0 は、印刷される枚数よりも大きく、この枚数に最も近い 2 の整数乗を枚数データとして処理する。

例えば、元原稿 4 4 が 3 枚である場合には、コピー装置 1 は、印刷される枚数が 4 枚であるとして処理する。

【0 0 8 2】

N アップ解除処理において、データ読出し部 5 2 0 (図 1 2) は、第 1 の印刷

用紙 4 0 の I C チップ 3 から、枚数データおよび用紙規格を読み出す。

画像分割部 5 3 6 は、枚数データにより特定される枚数で、画像読取部 5 0 0 から入力された画像を等分割する。

例えば、画像分割部 5 3 6 は、枚数データにより特定される枚数になるまで、読み取られた画像の長辺に対して垂直に二等分していく。

サイズ復元部 5 3 8 は、元原稿 4 4 の用紙規格に応じて、分割された画像の大きさを復元する。

【 0 0 8 3 】

図 1 7 は、N アップ印刷処理におけるコピー装置 1（印刷プログラム 5 2）の第 3 の動作（S 1 4）を示すフローチャートである。

図 1 8 は、N アップ解除処理におけるコピー装置 1（印刷プログラム 5 2）の第 3 の動作（S 2 4）を示すフローチャートである。

なお、図 1 7 および図 1 8 に示した処理の内、図 1 3 および図 1 4 に示した処理と実質的に同一なものには、同一の符号が付してある。

【 0 0 8 4 】

[N アップ印刷処理における第 3 の動作]

図 1 7 に示すように、N アップ印刷処理におけるコピー装置 1 の第 3 の動作（S 1 4）においては、S 1 0 2 の処理において 1 枚の元原稿 4 4 から画像が読み取られた後に、ステップ 1 1 8（S 1 1 8）の処理において、原稿サイズ特定部 5 0 2（図 1 2）は、元原稿 4 4 の用紙規格を特定し、サイズデータとしてサイズ変換部 5 3 2 に対して出力する。

印刷プログラム 5 2 は、原稿送り装置 1 8（図 2）にセットされた全ての元原稿 4 4 が搬送されたか否かを判断し、セットされた元原稿 4 4 が全て搬送された場合には、S 1 2 2 の処理に進み、これ以外の場合には、S 1 0 2 の処理に進む。

つまり、印刷プログラム 5 2 は、セットされた全ての元原稿 4 4 から画像を読み取り、元原稿 4 4 それぞれの用紙規格を特定する。

【 0 0 8 5 】

ステップ 1 2 2（S 1 2 2）において、画像読取部 5 0 0（図 1 2）は、画像

を読み取った回数をカウントし、サイズ変換部 5 3 2 を介して、カウントした回数を枚数データとしてデータ書込み部 5 5 0 に対して出力する。

【0 0 8 6】

ステップ 1 2 4 (S 1 2 4) において、データ書込み部 5 5 0 (図 1 2) は、枚数データおよびサイズデータを第 1 の印刷用紙 4 0 の I C チップ 3 に書き込む。

【0 0 8 7】

[N アップ解除処理における第 3 の動作]

図 1 8 に示すように、N アップ解除処理におけるコピー装置 1 の第 3 の動作 (S 2 4) においては、S 2 0 2 の処理においてサイズデータおよび枚数データが読み出され、S 2 0 4 の処理においてサイズデータに応じた第 2 の印刷用紙 4 2 が選択された後に、ステップ 2 1 6 (S 2 1 6) の処理において、画像分割部 5 3 6 (図 1 2) は、枚数データに対応する数で、第 1 の印刷用紙 4 0 から読み取られた画像を等分割し、サイズ復元部 5 3 8 に対して出力する。

【0 0 8 8】

このように、レイアウトデータの代わりに枚数データを I C チップ 3 に記憶させるので、I C チップ 3 の記憶容量がさらに小さい場合に好適である。

また、規格に適合した元原稿 4 4 および第 1 の印刷用紙 4 0 を用いることにより、コピー装置 1 は、N アップ印刷処理における縮小倍率の決定処理および画像のレイアウトの決定処理を容易に行うことができる。

【0 0 8 9】

[第 2 変形例]

上記第 1 の実施形態では、統合解除が指示されると、N アップ解除処理により全ての画像データを印刷していたが、ユーザにより選択された画像データのみを印刷してもよい。

その際に、コピー装置 1 は、印刷可能な画像データ（すなわち、I C チップ 3 から読み出された 1 以上の画像データ）を U I 装置 2 6 上に表示して、ユーザの選択を受け付ける。

【0 0 9 0】

図 19 は、第 2 の変形例における印刷プログラム 54 の構成を示す図である。

図 19 に示すように、印刷プログラム 54 は、図 8 で示した印刷プログラム 5 のデータ読出し部 520 と印刷部 540 との間に、選択部 570 を追加した構成を採る。

なお、印刷プログラム 54 の各構成部分の内、印刷プログラム 5 の各構成部分と実質的に同一な部分には同一の符号が付してある。

【0091】

印刷プログラム 54 において、UI 部 510（表示手段）は、データ読出し部 520 に読み出された少なくとも 1 つの画像データを、UI 装置 26（図 1，図 2）に表示させて、画像データの選択操作を受け付ける。

UI 部 510（選択受付手段）は、画像データの選択操作を受け付けると、選択された画像データの識別情報を選択情報として選択部 570 に対して出力する。

選択部 570 は、データ読出し部 520 から画像データが入力され、UI 部 510 から選択情報が入力されると、選択情報に対応する画像データ（すなわち、ユーザに選択された画像）を印刷部 540 に対して出力する。

この場合、印刷部 540 は、選択部 570 から入力された画像データを印刷する。

【0092】

図 20 は、N アップ解除処理におけるコピー装置 1（印刷プログラム 54）の動作（S26）を示すフローチャートである。

なお、図 20 に示した処理の内、図 10 に示した処理と実質的に同一なものには、同一の符号が付してある。

【0093】

図 20 に示すように、S202 において、データ読出し部 520 は、IC チップ 3 から複数の画像データを読み出し、UI 部 510 および選択部 570 に対して出力する。

ステップ 218（S218）において、UI 部 510 は、データ読出し部 520 から画像データが入力されると、UI 装置 26（図 1，図 2）を制御して、画

像をサムネイル表示し、ユーザの選択操作を促す。

ステップ 2 2 0 (S 2 2 0) において、U I 部 5 1 0 は、ユーザの選択操作を受け付けると、選択された画像データを示す情報を選択情報として選択部 5 7 0 に対して出力する。

選択部 5 7 0 は、U I 部 5 1 0 から入力された選択情報に基づいて、ユーザにより選択された画像データを印刷部 5 4 0 に対して出力する。

【 0 0 9 4 】

その後、コピー装置 1 は、図 1 0 に示した S 2 0 4 ~ S 2 0 8 までの処理により、印刷部 5 4 0 に入力された画像データを印刷する。

【 0 0 9 5 】

図 2 1 は、サムネイル表示画面 7 0 0 を例示する図である。

図 2 1 に例示するように、U I 装置 2 6 は、データ読出し部 5 2 0 により少なくとも 1 つの画像データが読み出されると、読み出された画像データのサムネイル画像を表示する。

サムネイル画像とは、データ読出し部 5 2 0 から読み出された画像データ（印刷用解像度）を、モニタでのプレビューに十分な解像度に変換した低解像度画像である。

本例の U I 装置 2 6 は、読み出された複数の画像データを並べて一覧表示し、印刷する画像データの選択操作を受け付ける。

U I 装置 2 6 は、ユーザの選択操作に応じて、サムネイル画像の明暗を反転させ、選択されなかった非選択画像 7 1 0 を暗転させる。

【 0 0 9 6 】

このように、本変形例におけるコピー装置 1 は、N アップを解除する場合に、I C チップ 3 から読み出された画像データをプレビューするために表示し、選択された画像データを印刷する。

これにより、ユーザは、予め印刷したい画像データを選択し、必要な画像のみを印刷させることができる。

【 0 0 9 7 】

なお、本変形例では、N アップ解除処理の場面におけるサムネイルの表示およ

び出力画像の選択を可能にしたが、Nアップ印刷時において、サムネイル表示および書込みデータの選択を行ってもよい。

具体的には、コピー装置 1 は、原稿から読み取った 1 以上の画像データを表示して、ユーザの選択操作を受け付け、選択された画像データを I C チップ 3 に書き込むようにしてもよい。

【 0 0 9 8 】

【発明の効果】

以上説明したように、本発明にかかる画像形成システムおよびその方法によれば、記憶させたデータを非接触で読み取ることができる半導体チップを応用して、一度統合して形成された 2 以上の画像を再度分離して形成することができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

本発明にかかる画像形成方法が適応されるコピー装置のハードウェア構成を、その制御装置を中心に例示する図である。

【図 2】

図 1 に示したコピー装置本体のハードウェア構成を例示する図である。

【図 3】

(A) は、Nアップ印刷処理において原稿として用いられる元原稿を例示する図であり、(B) は、コピー装置 (図 1、図 2) が図 3 (A) に例示した 2 枚の元原稿を 2 アップ印刷して得られる第 1 の印刷用紙を例示する図である。

【図 4】

(A) は、Nアップ解除処理において原稿として用いられる第 1 の印刷用紙を例示する図であり、(B) は、コピー装置 (図 1、図 2) が図 4 (A) に例示した第 1 の印刷用紙を 2 アップ解除処理して得られる 2 枚の第 2 の印刷用紙を例示する図である。

【図 5】

図 3 (B)、図 4 (A) に示した第 1 の印刷用紙に付された I C チップが記憶するデータを例示する図である。

【図 6】

図 3 (B)、図 4 (A) に示した IC チップの構成を示す図である。

【図 7】

図 1、図 2 に示した IC チップ IF の構成を示す図である。

【図 8】

制御装置 (図 1、図 2) により実行され、本発明にかかる画像形成方法を実現する第 1 の印刷プログラムの構成を示す図である。

【図 9】

N アップ印刷処理におけるコピー装置 (印刷プログラム) の第 1 の動作 (S 10) を示すフローチャートである。

【図 10】

N アップ解除処理におけるコピー装置 (印刷プログラム) の第 1 の動作 (S 20) を示すフローチャートである。

【図 11】

図 3 (B)、図 4 (A) に示した IC チップが記憶するレイアウトデータ等を例示する図である。

【図 12】

第 2 の印刷プログラムの構成を示す図である。

【図 13】

N アップ印刷処理におけるコピー装置 (印刷プログラム) の第 2 の動作 (S 12) を示すフローチャートである。

【図 14】

N アップ解除処理におけるコピー装置 (印刷プログラム) の第 2 の動作 (S 22) を示すフローチャートである。

【図 15】

(A) は、図 3 に示した用紙 (元原稿および印刷用紙) の規格を例示する図であり、(B) は、図 15 (A) に示した A 3 規格の用紙と A 4 規格の用紙との大きさおよび形状を例示する図である。

【図 16】

図 3 (B)、図 4 (A) に示した IC チップが記憶する枚数データ等を例示する

図である。

【図 1 7】

N アップ印刷処理におけるコピー装置（印刷プログラム）の第 3 の動作（S 1 4）を示すフローチャートである。

【図 1 8】

N アップ解除処理におけるコピー装置（印刷プログラム）の第 3 の動作（S 2 4）を示すフローチャートである。

【図 1 9】

第 2 の変形例における印刷プログラム 5 4 の構成を示す図である。

【図 2 0】

N アップ解除処理におけるコピー装置 1（印刷プログラム 5 4）の動作（S 2 6）を示すフローチャートである。

【図 2 1】

サムネイル表示画面 7 0 0 を例示する図である。

【符号の説明】

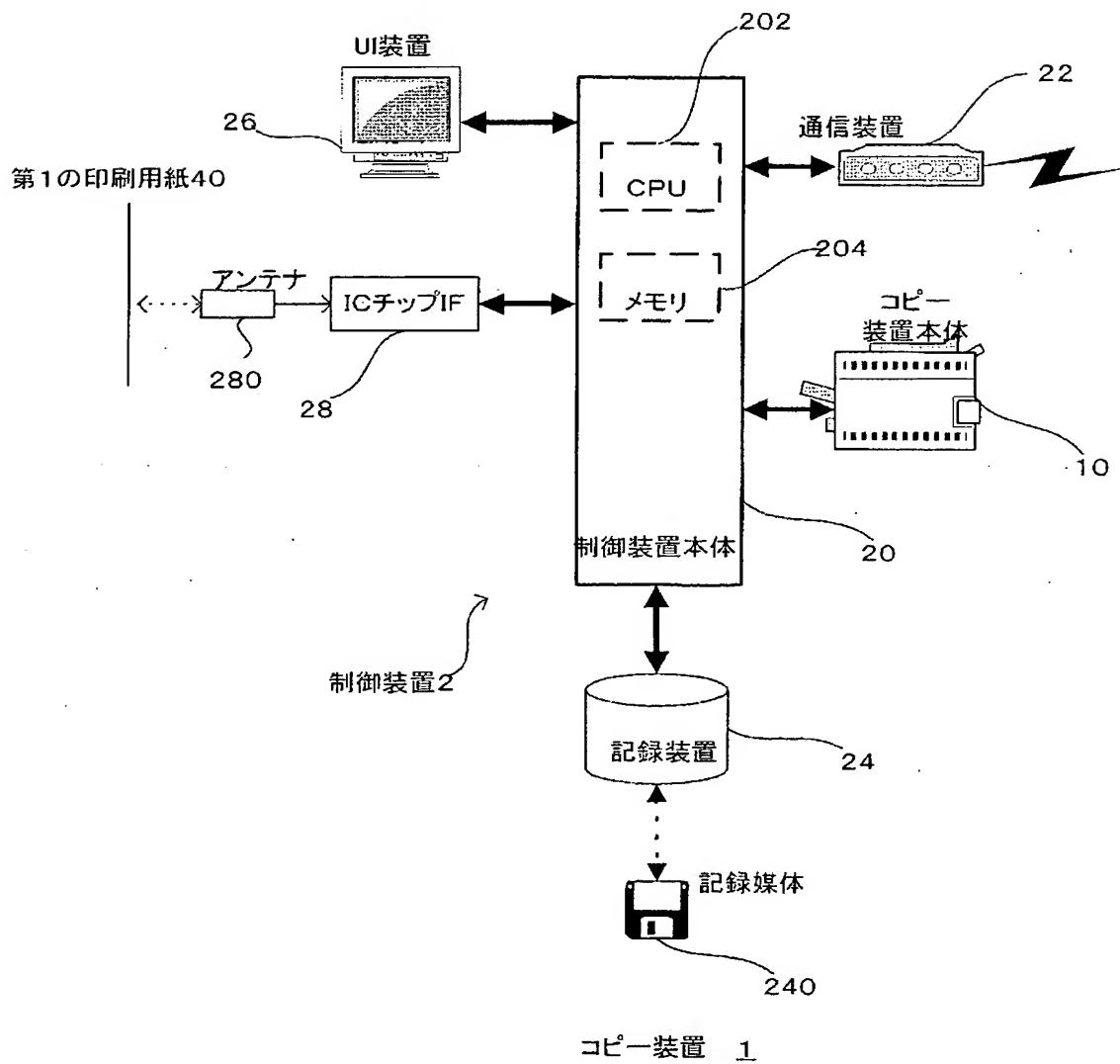
- 1 . . . コピー装置
 - 1 0 . . . コピー装置本体
 - 1 2 . . . 用紙トレイ部
 - 1 4 . . . プリントエンジン
 - 1 6 . . . スキャナ
 - 1 8 . . . 原稿送り装置
- 2 . . . 制御装置
 - 2 0 . . . 制御装置本体
 - 2 0 2 . . . C P U
 - 2 0 4 . . . メモリ
 - 2 2 . . . 通信装置
 - 2 4 . . . 記録装置
 - 2 4 0 . . . 記録媒体
 - 2 6 . . . U I 装置

2 8 . . . I C チ ッ プ I F
2 8 0 . . . ア ン テ ナ
5 , 5 2 , 5 4 . . . 印 刷 プ ロ グ ラ ム
5 0 0 . . . 画 像 読 取 部
5 0 2 . . . 原 稿 サ イ ズ 特 定 部
5 1 0 . . . U I 部
5 2 0 . . . デ ー タ 読 出 し 部
5 3 0 . . . 画 像 形 成 部
5 3 2 . . . サ イ ズ 変 換 部
5 3 4 . . . 統 合 部
5 3 6 . . . 画 像 分 割 部
5 3 8 . . . サ イ ズ 復 元 部
5 4 0 . . . 印 刷 部
5 5 0 . . . デ ー タ 書 込 み 部
5 6 0 . . . 用 紙 選 択 部
5 7 0 . . . 選 択 部
4 0 , 4 2 . . . 印 刷 用 紙
3 . . . I C チ ッ プ
3 0 0 . . . ア ン テ ナ
3 2 0 . . . ク ロ ッ ク 再 生 回 路
3 2 2 . . . メ モ リ 回 路
3 2 4 . . . デ ー タ 送 受 信 回 路
3 2 6 . . . 電 源 回 路
4 4 . . . 元 原 稿
7 0 0 . . . サ ム ネ イ ル 表 示 画 面
7 1 0 . . . 非 選 択 画 像

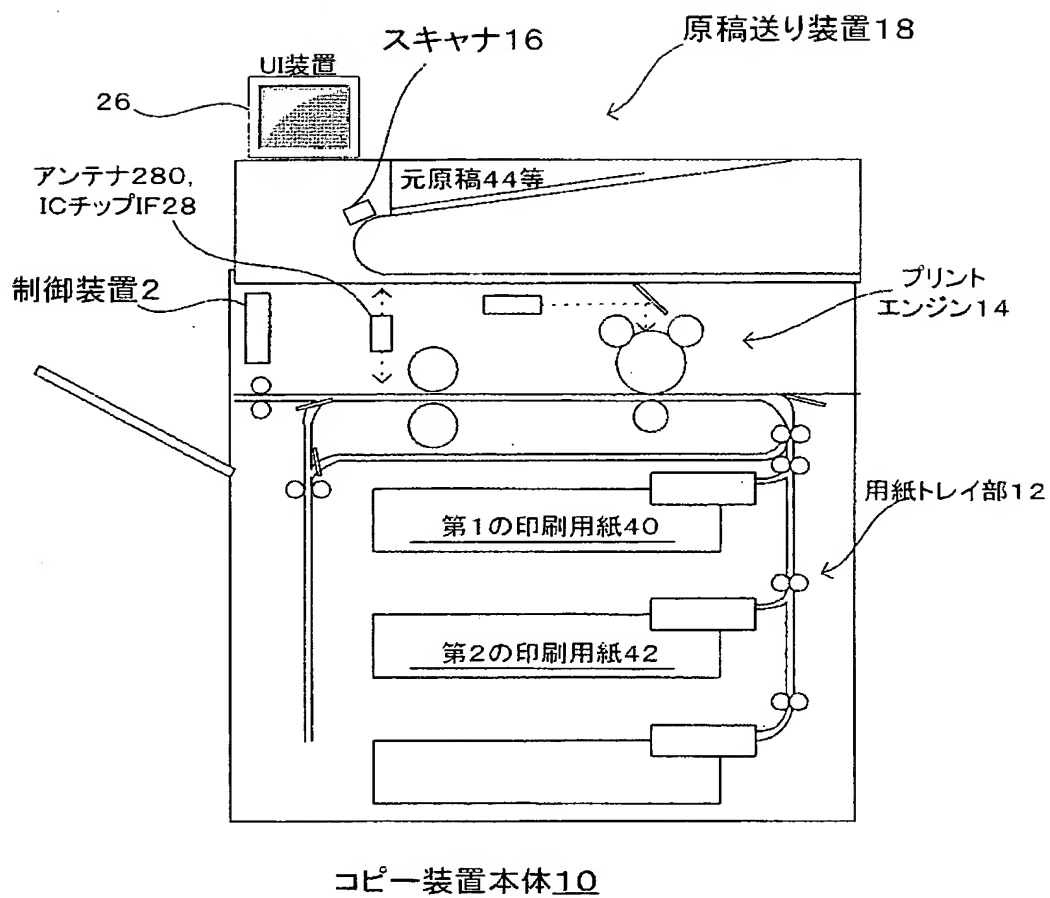
【書類名】

図面

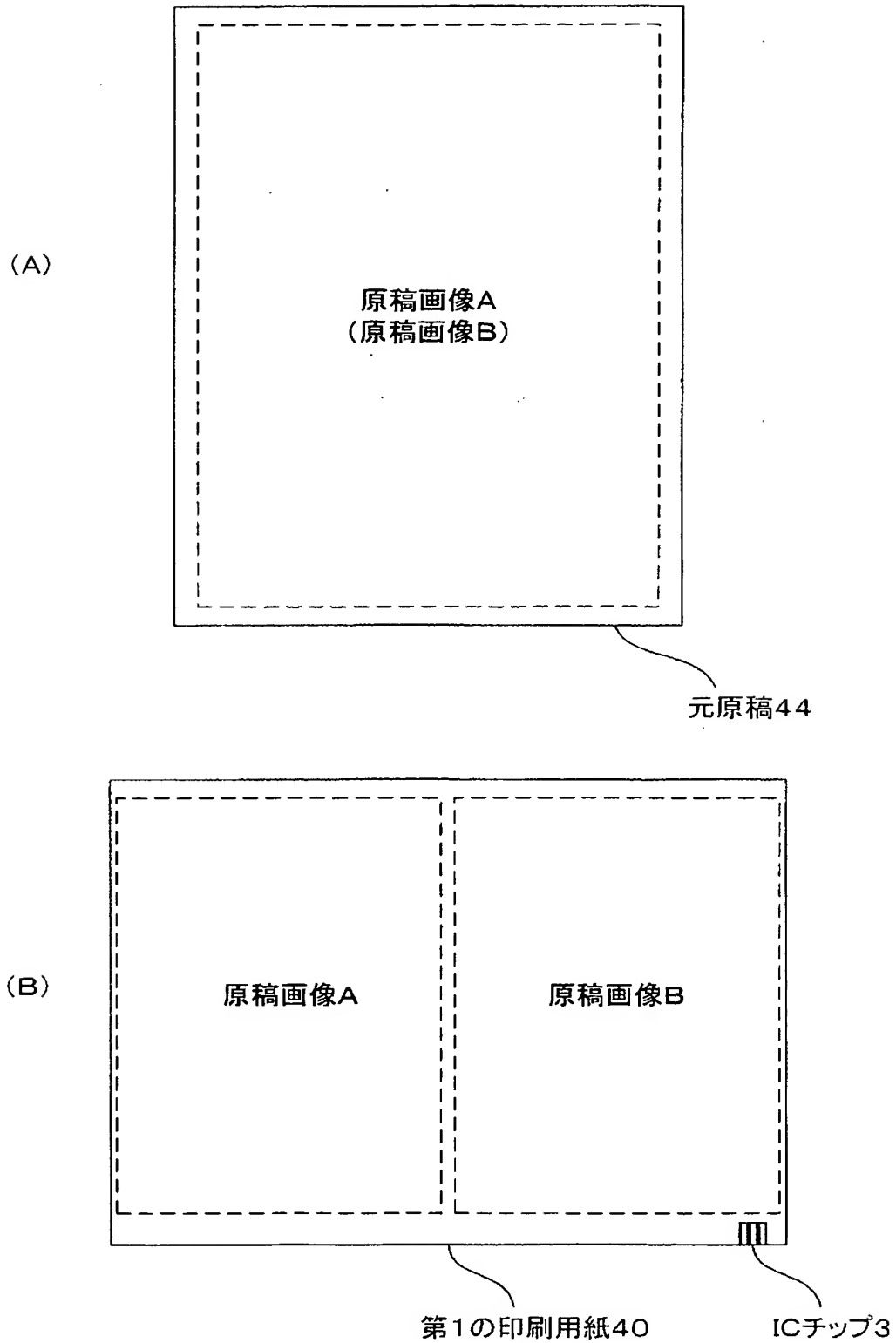
【図 1】



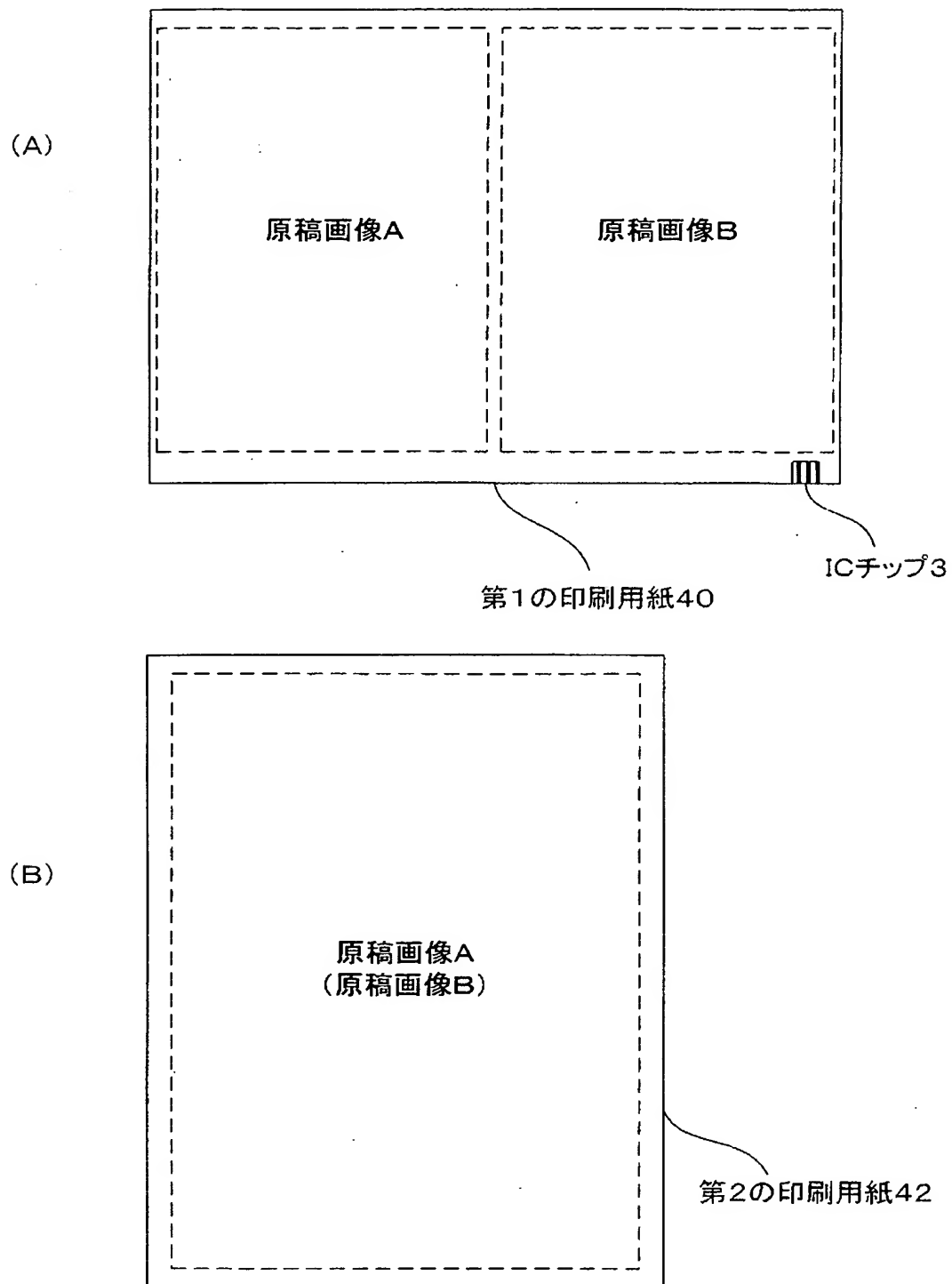
【図 2】



【図 3】



【図 4】



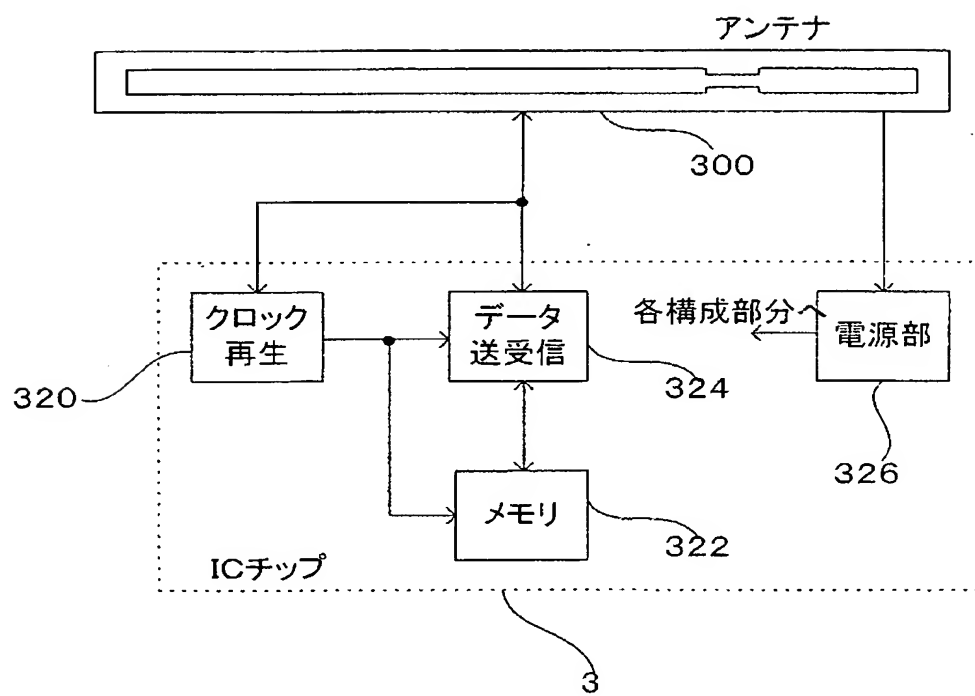
【図 5】

原稿 1
用紙サイズ

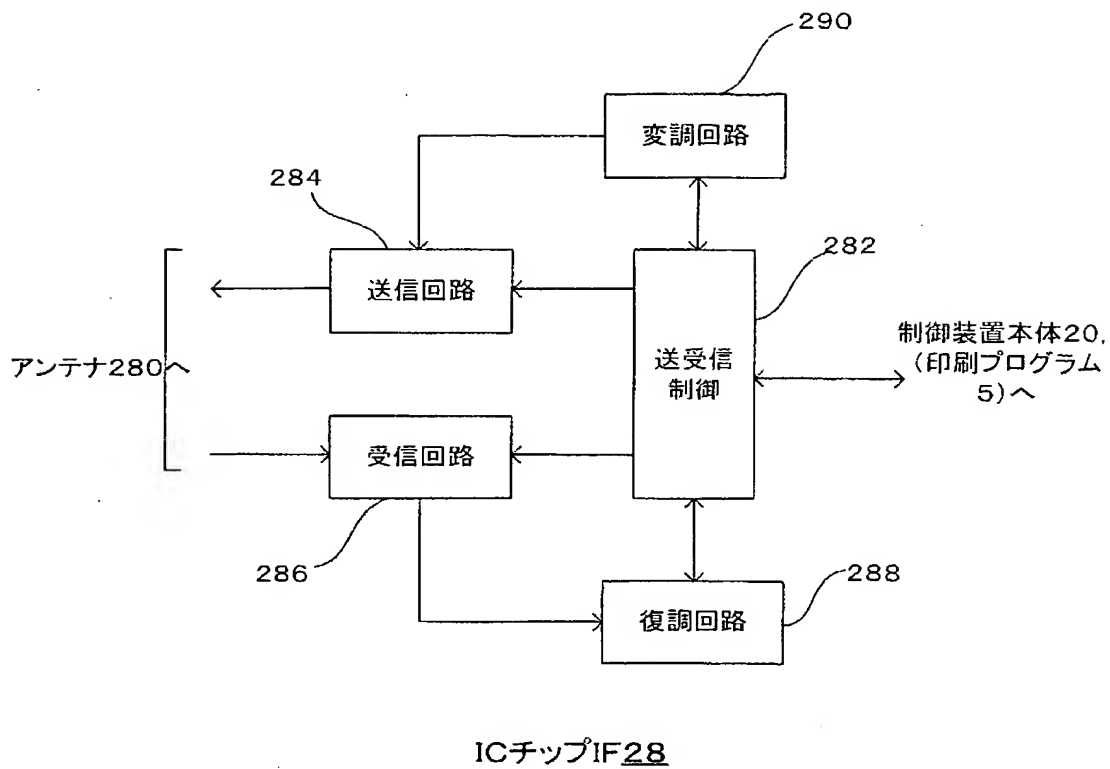
画像データ
原稿 2
用紙サイズ

画像データ

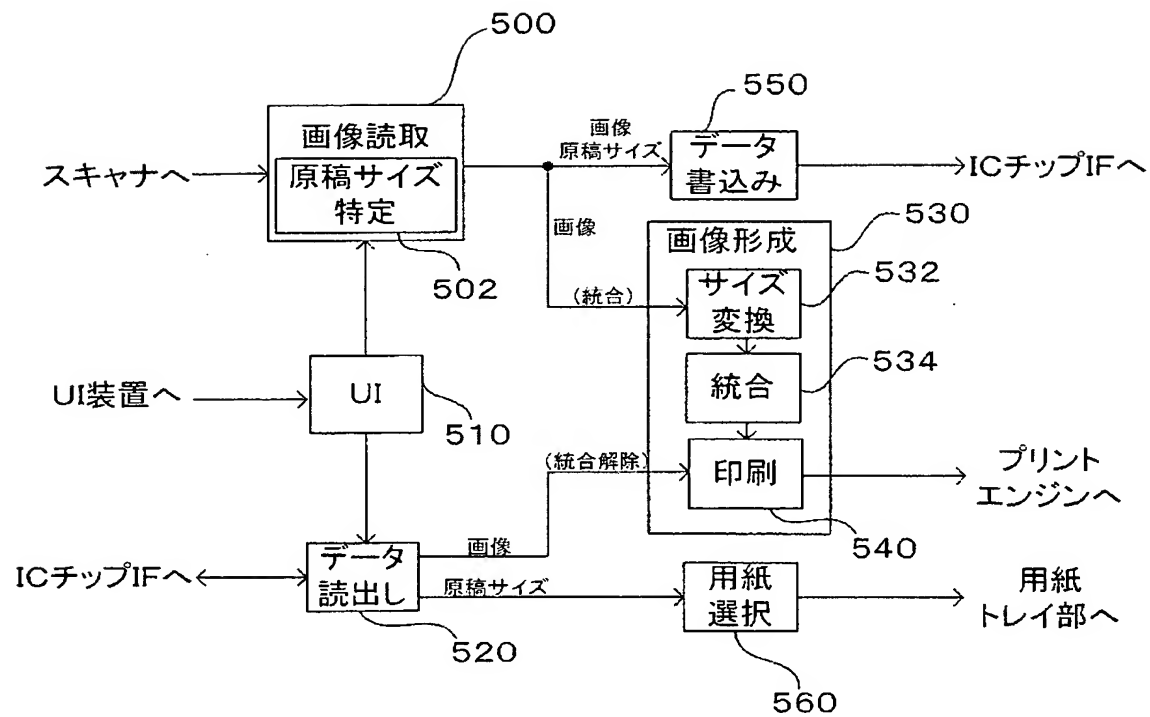
【図 6】



【図 7】

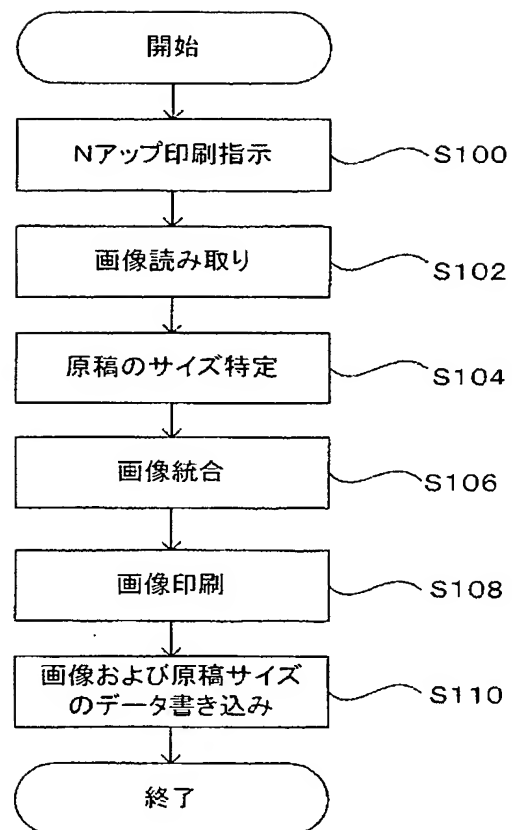


【図 8】

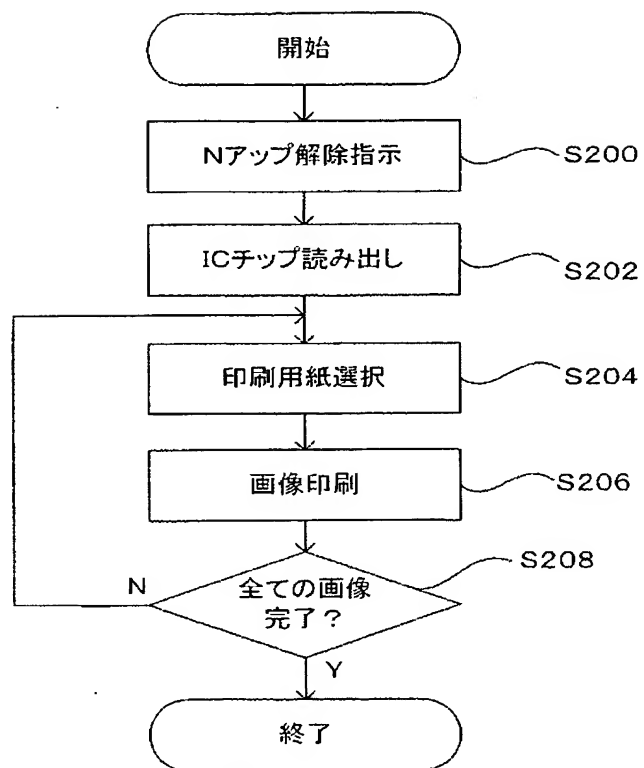


印刷プログラム5

【図 9】

S10

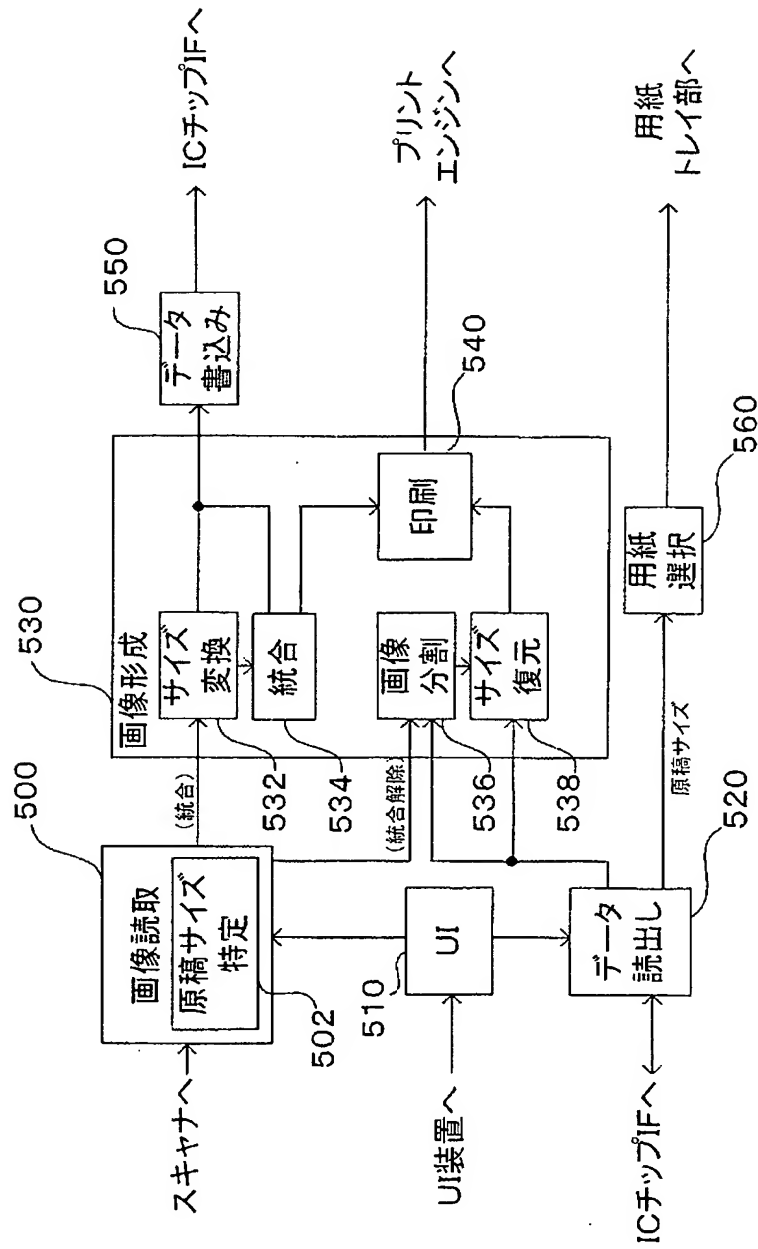
【図 10】

S20

【図 1 1】

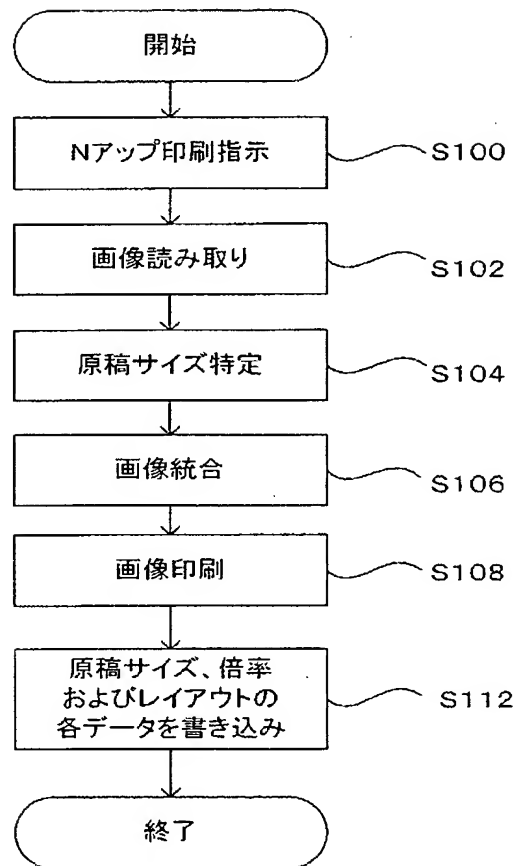
レイアウトデータ
X: 50 Y: 25, 50, 75
用紙サイズ
縮小倍率

【図 12】

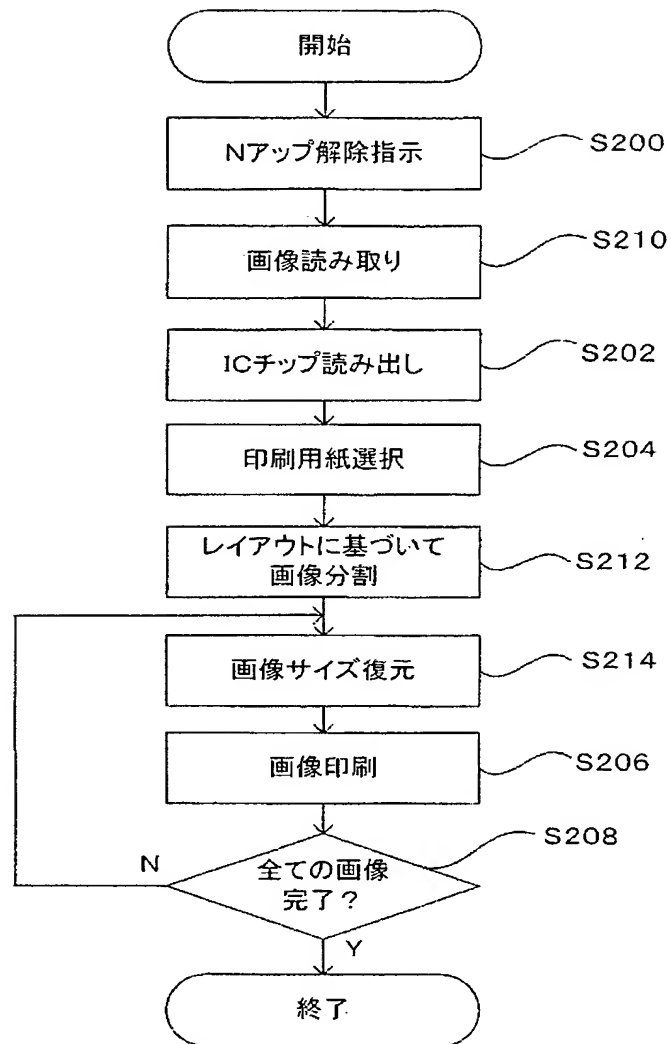


印刷プログラム52

【図 13】

S12

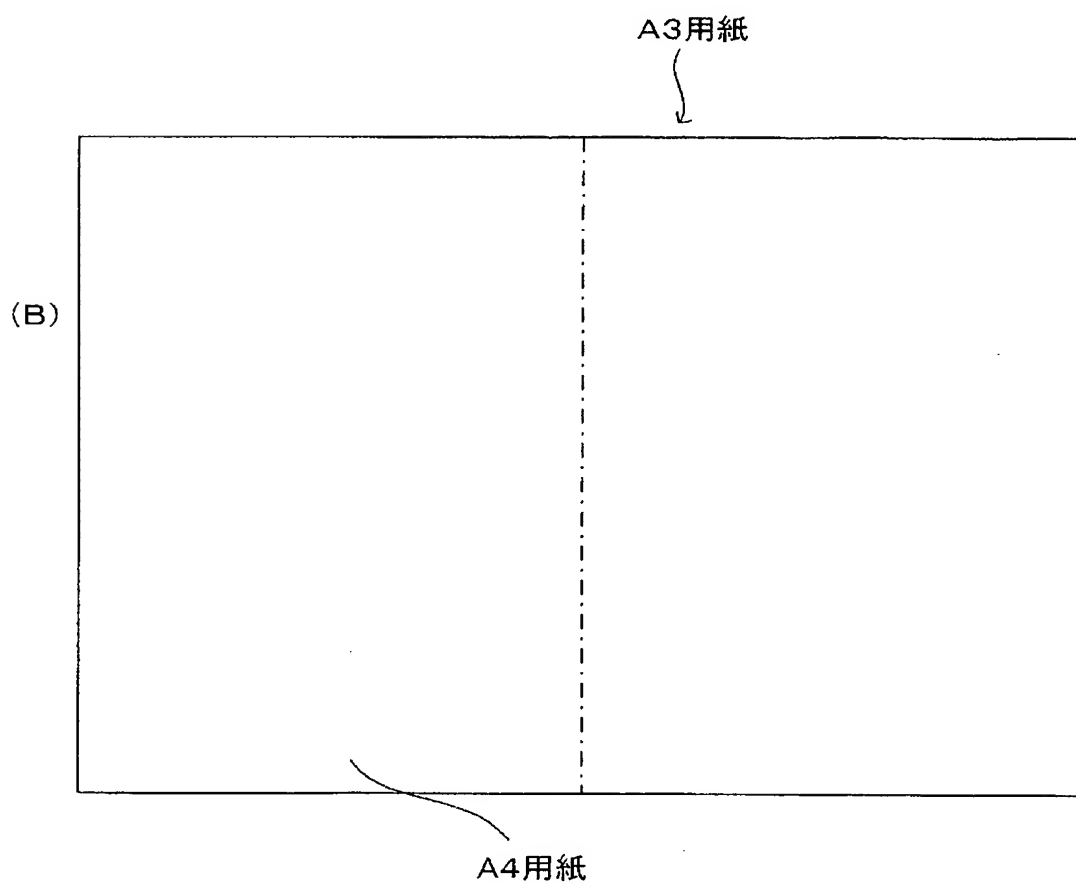
【図 14】

S22

【図 15】

(A)

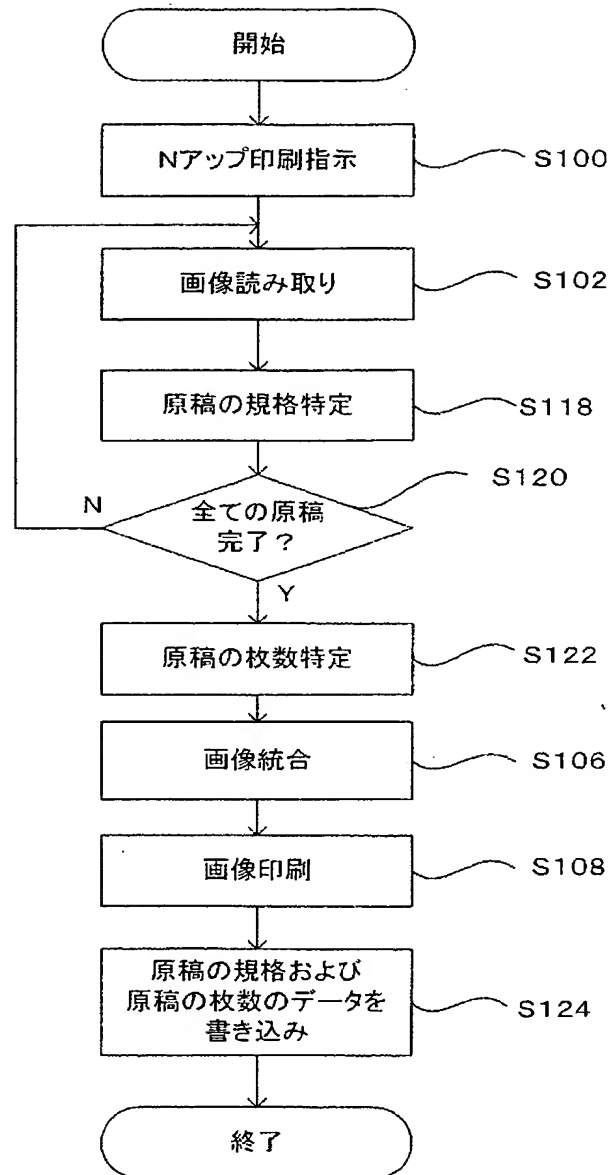
用紙規格	A3	A4	A5
A3	1:1	2:1	4:1
A4	1:2	1:1	2:1
A5	1:4	1:2	1:1



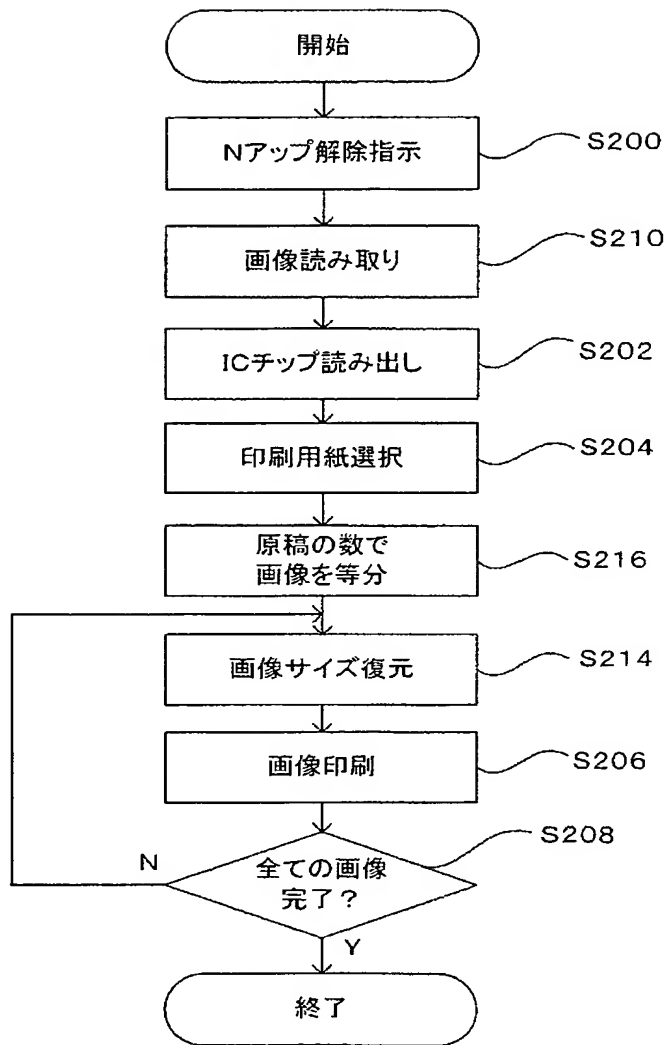
【図 1 6】

原稿の画像数
用紙規格
・ ・ ・

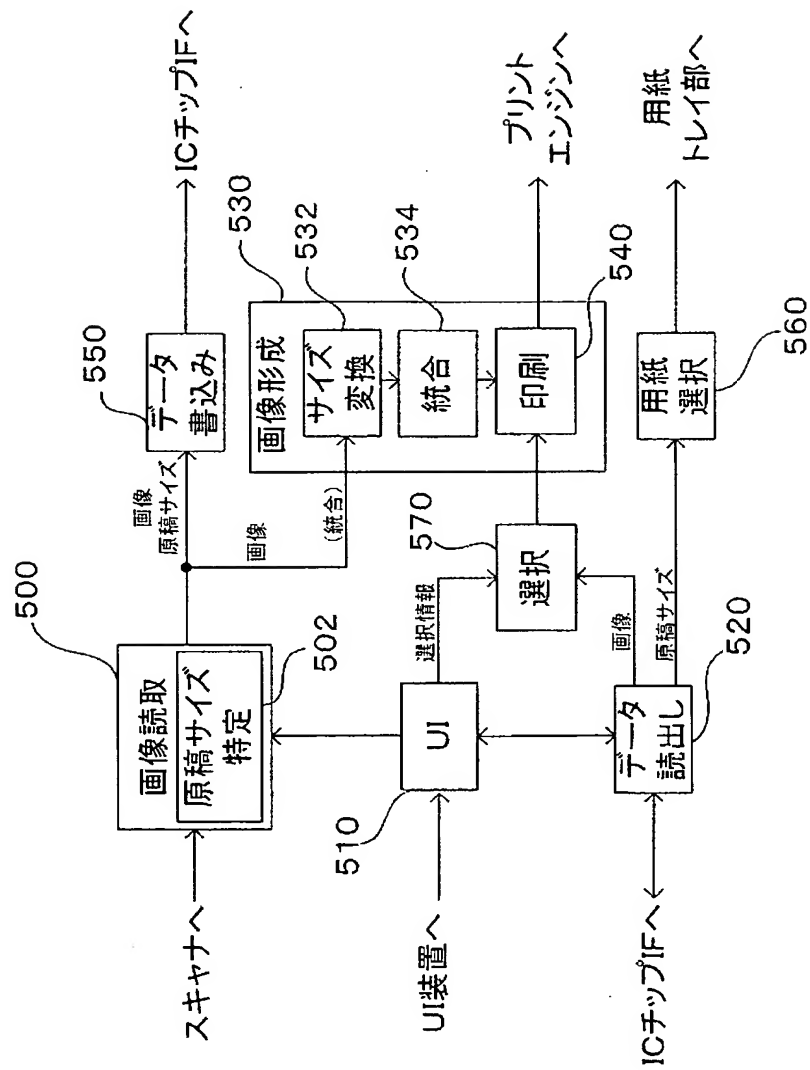
【図 17】

S14

【図 18】

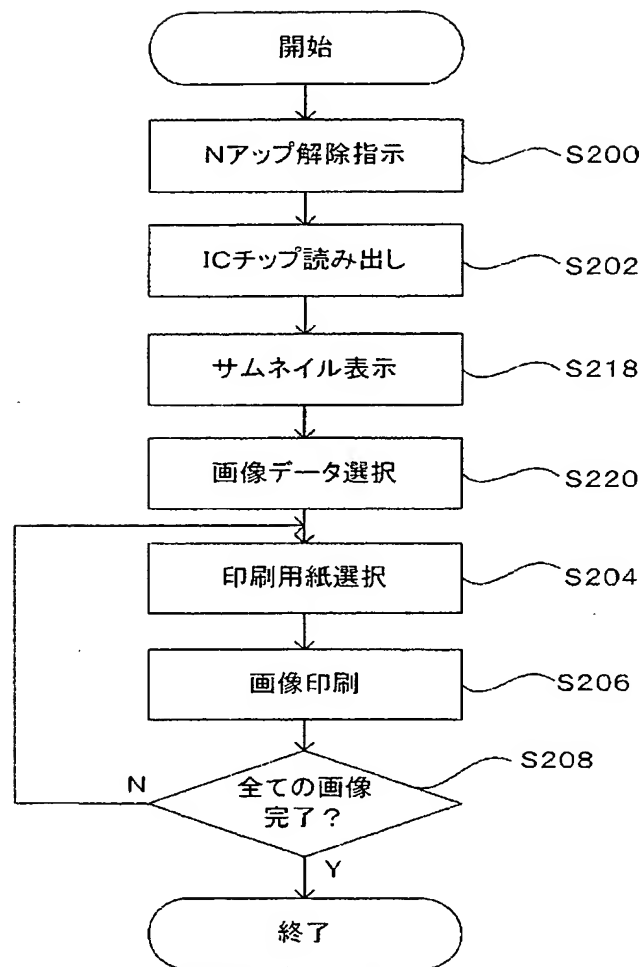
S24

【図 19】

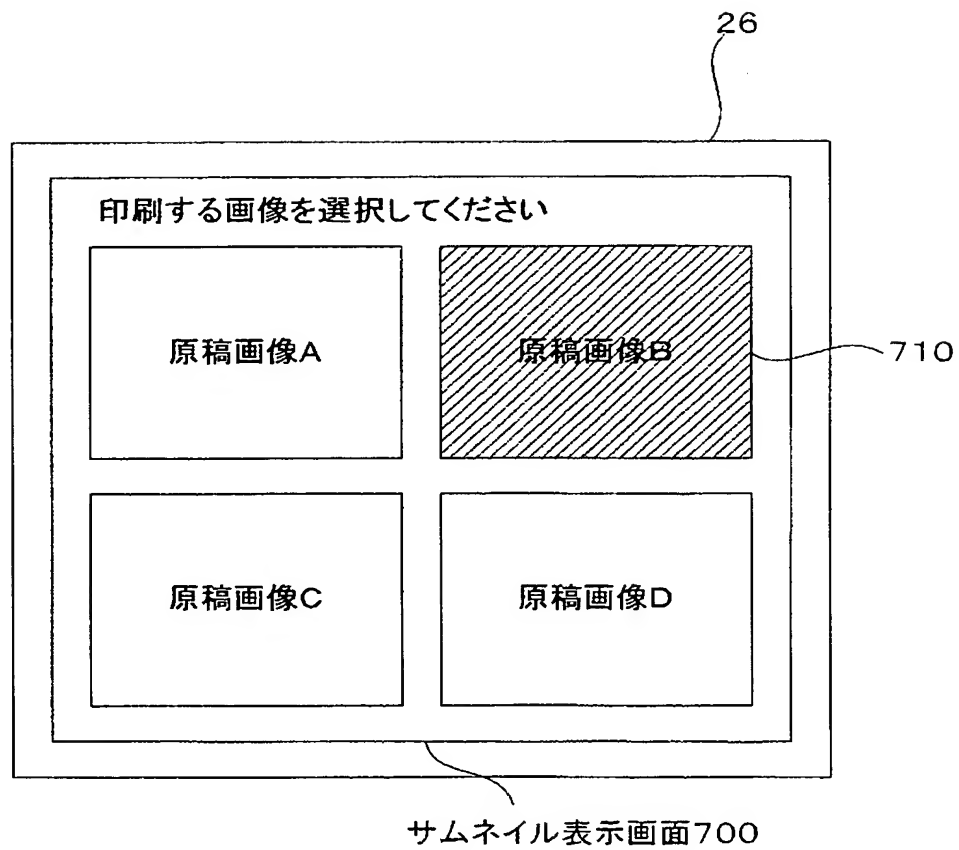


印刷プログラム54

【図 20】

S26

【図 21】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 記憶させたデータを非接触で読み取ることができる半導体チップを応用して、一度統合して形成された 2 以上の画像を再度分離して形成する。

【解決手段】 2 以上の原稿から読み取った 2 以上の画像を 1 枚の第 1 の印刷用紙 4 0 に印刷するときに、この第 1 の印刷用紙 4 0 に付された I C チップ 3 に、これらの原稿に関する原稿情報を記憶させておき、この第 1 の印刷用紙 4 0 を用いて原稿を再現したいときに、I C チップ 3 に記憶された原稿情報を読み出して、読み出された原稿情報に基づいて原稿から読み出した画像をそれぞれ原稿と同じ大きさで印刷する。

【選択図】 図 8

認定・付加情報

特許出願の番号	特願 2 0 0 3 - 1 6 9 6 2 1
受付番号	5 0 3 0 0 9 9 6 2 7 1
書類名	特許願
担当官	第七担当上席 0 0 9 6
作成日	平成 1 5 年 6 月 1 8 日

< 認定情報・付加情報 >

【特許出願人】

【識別番号】	000005496
【住所又は居所】	東京都港区赤坂二丁目 1 7 番 2 2 号
【氏名又は名称】	富士ゼロックス株式会社

【代理人】

申請人

【識別番号】	110000039
【住所又は居所】	神奈川県横浜市中区不老町 1 丁目 6 番地 9 第 1 HBビル 5 階
【氏名又は名称】	特許業務法人アイ・ピー・エス

次頁無

特願 2 0 0 3 - 1 6 9 6 2 1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号

[0 0 0 0 0 5 4 9 6]

1. 変更年月日

1 9 9 6 年 5 月 2 9 日

[変更理由]

住所変更

住 所

東京都港区赤坂二丁目 1 7 番 2 2 号

氏 名

富士ゼロックス株式会社